

取扱説明書

Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス

品番 **KX-VCG100J**

保証書別添付

技術基準適合認証品

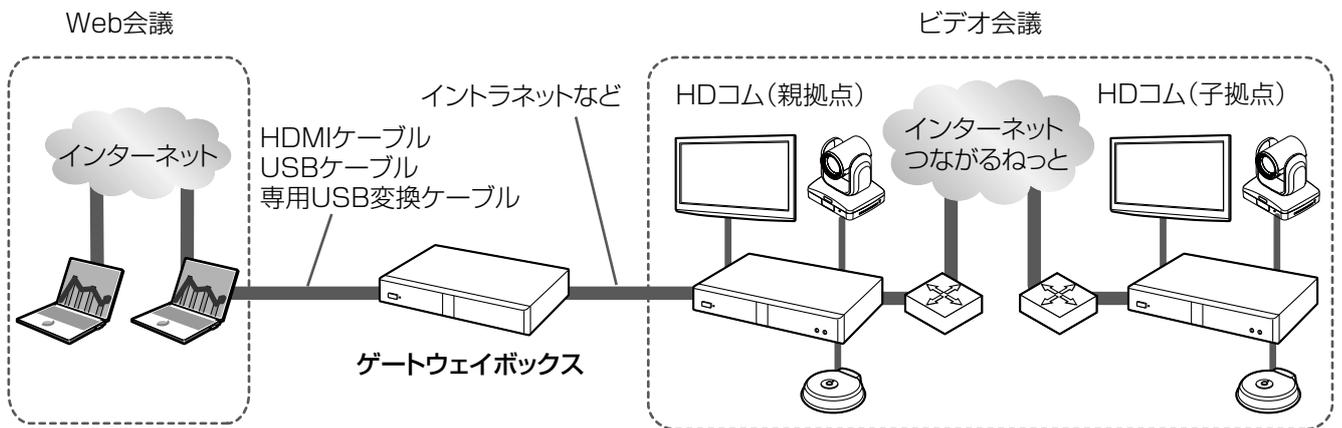
このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(8～11ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

ソフトウェアバージョン 6.10以上

はじめに

Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックスの特長



Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス（以下、ゲートウェイボックスと記載）は、HD映像コミュニケーションユニットのビデオ会議と、パソコンのWeb会議アプリケーションを使用したWeb会議を接続し、ビデオ会議とWeb会議で音声と映像を相互に共有します。

お知らせ

- 本書では、内蔵MCU を使用して1台で同時に複数の拠点と接続するHD 映像コミュニケーションユニットを「親拠点」、親拠点に接続するHD 映像コミュニケーションユニットを「子拠点」と記載しています。また、イラスト内のHD 映像コミュニケーションユニットを「HD コム」と記載しています。
- ゲートウェイボックスと通信するHD 映像コミュニケーションユニットのソフトウェアバージョンが6.00 未満の場合、一部お使いになれない機能があります（35 ページ）。

ゲートウェイボックスのリモコン操作について

本機にリモコンは付属していません。以下の機能を使用するときは一時的にテレビを接続し、HD 映像コミュニケーションユニットに付属のリモコンを使用してください。

- 初期設定
- 宛先を直接入力して発信する、通信履歴から発信する
- 接続状況・機器情報を表示する
- システムの設定／保守をする
- 管理者メニューの設定をする
- 状態ランプが黄色に点滅したときに、本体の状態を確認する

リモコンの準備、リモコンの各部のなまえとはたらき、電池交換については、HD映像コミュニケーションユニットの取扱説明書を参照してください。

リモコン操作をゲートウェイボックスで有効にする方法は23 ページを参照してください。

商標および登録商標について

- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、およびHDMIロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。
- Polycom®は、Polycom, Inc.の米国およびその他の国における商標です。
- Microsoft、および Windowsは、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 本書に記載の会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的又は非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - i. 画像情報をAVC規格に準拠して（以下、AVCビデオ）記録すること。
 - ii. 個人的活動に従事する消費者によって記録されたAVCビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手したAVCビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, LLCホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- 本製品は、Polycom®によってライセンスされたG.722.1とG.722.1 Annex Cを使用しています。
- 本製品はThe Qt Company社によってライセンスされたQtライブラリを使用しています。本製品をお使いになる前に、本製品システム設定の「**使用許諾契約**」をお読みください。

オープンソースソフトウェアについて

この製品には、フリーソフトウェア財団のGPL、LGPLとMOZILLA PUBLIC LICENSE (MPL)、ITU-T およびその他の条件に基づいたオープンソースソフトウェア (OSS) を使用しています。それぞれのOSSは個々のOSSライセンスが適用されます。そのため、本製品をお使いになる前に、GPL、LGPL、MPL、ITU-Tやその他のOSSライセンスに関する情報を本製品システム設定の「**ライセンス情報**」でご確認ください。ライセンスがGPL、LGPL、MPL、およびITU-Tのソースコードは公開されています。これらのソフトウェアについては保証の範囲外となりますので、あらかじめご了承ください。

製品販売後、少なくとも3年間、パナソニック株式会社はコンタクトしてきた個人・団体に対し、GPL/LGPL/MPL/ITU-T の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL/MPL/ITU-T ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコード、および著作権表示のリストを頒布します。

上記記載内容へのお問い合わせや関連するソースコードの入手方法については、以下のホームページにあるお問い合わせフォームまたは巻末の電話番号へお問い合わせください。

<https://sol.panasonic.biz/visual/soudan>

その他

著作権について

- 本製品で使用されているソフトウェアは、Radvision Ltd. のソースコードを使用しています。Portions of this software are © 1996-2012 RADVISION Ltd. All intellectual property rights in such portions of the Software and documentation are owned by RADVISION and are protected by United States copyright laws, other applicable copyright laws and

international treaty provisions. RADVISION and its suppliers retain all rights not expressly granted.

- GPL/LGPLその他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本製品に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本製品に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

もくじ

安全上のご注意	8
安全上のご注意	8
ご使用にあたってのお願いとお知らせ	12
使用上のお願い	12
お客様の大切な情報を保護するために	13
プライバシー・肖像権について	13
個人情報の保護について	13
記号について	13
準備	14
同梱物一覧	14
付属品／添付品について	14
各部のなまえとはたらき	15
本体（前面）	15
本体（背面）	16
ランプ表示	17
スクリーンスタンバイ	18
接続と準備	19
接続機器と環境	19
本体を接続する	19
パソコンの接続	21
リモコン操作の有効化・無効化	23
電源を入れる／切る	24
画面の見かた	25
ホーム画面（待ち受け画面）	25
メニュー画面（待ち受け画面）	27
通信中画面	28
入力について	29
IPv6アドレスについて	29
初期設定	30
ゲートウェイ機能を利用する	33
会議の相互接続を開始する	33
コンテンツを共有する	35
子拠点のコンテンツを共有する	35
Web会議や親拠点のコンテンツを共有する	35
通信を開始する	37
発信する	37
宛先を直接入力して発信する	37

通信履歴から発信する	39
着信に応答する	41
接続状況などを表示する	42
接続状況を表示する	42
機器情報を表示する	43
設定と登録	44
システムの設定／保守をする	44
拠点名を設定する	47
日時を設定する	47
ネットワークの設定をする	47
通信の設定をする	49
自動接続の設定をする	50
スクリーンスタンバイの設定をする	51
音の設定をする	51
リモコンの設定をする	52
言語の設定をする	53
機器情報を表示する	53
拡張機能の確認を行う	54
ネットワーク接続の確認を行う	54
ライセンス情報を表示する	54
使用許諾契約を表示する	55
リモートメンテナンスを行う	55
管理者メニューの設定をする	56
管理者メニューの一覧	56
管理者パスワードの設定をする	60
暗号通信の設定をする	60
バージョンアップ確認の設定をする	61
NATの設定をする	61
通信タイプの設定をする	62
SIPの設定をする	62
H.323の設定をする	64
音声入出力の設定をする	65
電源管理の設定をする	65
ショートカットを設定する	66
ソフトウェアを更新する	66
システムの初期化を行う	68
リモートアクセスの設定をする	68
データをエクスポートする	69
データをインポートする	70

その他	72
お手入れ	72
入力について	73
文字や数字を入力する	73
ポート番号について	85
ポート番号について	85
困ったとき	86
基本動作について	86
機能の設定について	90
こんなメッセージが出たら	90
仕様	96
おもなシステム仕様	96
保証とアフターサービス	98
索引.....	100

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



警告



工事は販売店に依頼する

(工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因となります。)

→ 必ず販売店に依頼してください。

電源プラグやAC アダプターは根元まで確実に差し込む

(差し込みが不完全なまま使用すると、感電や発熱による火災の原因となります。)

→ 傷んだ電源プラグやAC アダプター、ゆるんだコンセントは使用しないでください。

電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く

(コードが傷つき、火災や感電の原因となります。)

電源プラグを抜き差しするときは、電源プラグ(金属でない部分)を持って抜く

(感電の原因となります。)

持ち運ぶときはコード類をすべて抜く

(コードに足をかけたりして、けがの原因となります。また、コードが傷つき火災や感電の原因となります。)

お手入れのときは電源を切る

(感電の原因となります。)

電源プラグやAC アダプターのほこりなどは定期的にとる

(電源プラグやAC アダプターにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。)

→ 電源プラグやAC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

 警告	
	<p>異常があるときは、すぐ使用をやめる (煙が出る、においがするなど、そのまま使用すると火災の原因となります。) → 直ちに電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>
 禁止	<p>可燃性ガスの雰囲気の中で使用しない (爆発によるけがの原因となります。)</p> <p>湿気やほこりの多い場所に設置しない (火災や感電の原因となります。)</p> <p>不安定な場所に置かない (落下や転倒によるけがや事故の原因となります。)</p> <p>付属のACアダプター (極性統一型プラグ) 以外は使用しない (付属のACアダプター以外を使用すると、電圧や+-の極性が異なっていることがあるため、発煙・火災の原因となります。)</p> <p>付属のACコードは、他の製品に使用しない (火災や感電の原因となります。)</p> <p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、交流100V以外での使用はしない (たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。)</p> <p>落とさない、強い衝撃を与えない (けがや火災の原因となります。)</p> <p>異物を入れない (水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因となります。) → 直ちに電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p> <p>ACコード・電源プラグ・ACアダプターを破損するようなことはしない (傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど) (傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。) → コード、プラグ、アダプターの修理は販売店へご相談ください。</p> <p>雷のときは工事、配線をしない (火災や感電の原因となります。)</p>
 分解禁止	<p>分解しない、改造しない (火災や感電の原因となります。) → 修理や点検は、販売店に依頼してください。</p> <p>ACアダプターを分解・修理・改造はしない (火災・感電の原因となります。) → 修理は販売店へご相談ください。</p>

 警告	
 電源プラグ を抜く	<p>煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、電源を切り、電源プラグを抜く (そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。) → 使用を中止し、販売店へご相談ください。</p>
 接触禁止	<p>雷が鳴ったら本機や電源プラグ・AC アダプターに触れない (感電の原因となります。)</p>
 ぬれ手禁止	<p>ぬれた手で、電源プラグやAC アダプターの抜き差しはしない (感電の原因となります。)</p>
 水ぬれ禁止	<p>水をかけたり、ぬらしたりしない (火災や感電の原因となります。) → 直ちに電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p> <p>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない (水などが中に入った場合、火災や感電の原因となります。) → 直ちに電源を切り、電源プラグを抜いて、販売店に連絡してください。</p>

 注意	
	<p>配線は正しく行う (ショートや誤配線により、けがの原因となります。)</p> <p>専用のAC コードやAC アダプターを使用する (専用以外のAC コードやAC アダプターを使用すると、火災の原因となることがあります。)</p> <p>廃棄は専門業者に依頼する (燃やすと化学物質などで目を痛めたり、火災、やけどの原因となります。)</p>
 禁止	<p>ケーブルなどを傷つけない (重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、けがの原因となります。)</p> <p>湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では、使用しない (火災・感電の原因となることがあります。)</p> <p>水平でない場所や振動の激しい場所では、使用しない (落下により破損・けがの原因となることがあります。)</p> <p>通風孔、冷却ファンをふさがない (内部に熱がこもり、火災の原因となります。)</p> <p>幼児の手の届く場所に設置しない (けがの原因となります。)</p>
 電源プラグ を抜く	<p>長期間使用しないときや、お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜く (漏電により、火災の原因となることがあります。)</p>
 火気禁止	<p>火気を近づけない (火災の原因となることがあります。)</p>

使用上のお願い

本機をご使用になる際は、以下のことに注意してください。

1. 設置・増設・修理は、お買い上げの販売店へご相談ください。
2. 機器に、強い衝撃や振動を与えないでください。落としたりぶつけたりして強い衝撃が加わると、故障や破損の原因になります。
3. 冷凍倉庫など特に温度の下がる場所に置かないでください。故障や動作不良の原因になります。
4. ラジオ、OA機器、電子レンジ、エアコンなどから2 m以上離してお使いください。機器からのノイズにより雑音の発生など悪影響を受ける・与える原因になります。
5. 直射日光、暖房設備、ボイラーなどの、特に温度の上がる場所に置かないでください。機器表面や部分が変形・劣化するほか、故障の原因になります。
6. 硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、塵埃、有毒ガスなどの発生する場所に置かないでください。故障や機器の寿命が短くなる原因になります。
7. 殺虫剤などの揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などに長時間付着させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげる原因になります。
8. 電磁波発生源や磁気を帯びたもの（高周波マシン・電気溶接機・磁石など）に近づけないでください。雑音の発生や故障の原因になります。
9. 周囲の壁面から10 cm以上離してお使いください。壁面に密着させると、機器の放熱効果が悪くなり、動作異常を起こす可能性があります。
10. 湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることは避けてください。また、水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

本機および電源プラグは防水仕様にはなっておりません。

11. 電源プラグは抜き差しが容易にできる近くの電源コンセントに接続してください。
12. 映像周波数切り替えスイッチ（Videoスイッチ）がご使用地域の映像周波数になっているか確認してください。
13. 本機は内部に電池が組み込まれています。電池は、日光、火などにより過度の熱にさらされる環境に放置しないでください。
14. 本機の識別および電源、その他の表示は機器底面をご覧ください。
15. 付属の電源コードは本機専用です。他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

移動について

コード類を接続した状態で移動しないでください。コード類の破損の原因になります。

その他

- この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

- 停電すると、本機は使えません。

お客様の大切な情報を保護するために

お客様固有の情報の流出による、不測の損害を回避するため、下記事項をお守りください。

本機の不正使用による損害に対し、当社は責任を負いかねます。

情報の損失を防ぐために

設定した暗号鍵の内容は、メモなどに控えるようにしてください。

情報の流出を防ぐために

- 不特定多数の人が出入りするような場所に、本機を放置しないようにしてください。
- 重要な情報を保存する場合は、本機を適切な場所で管理するようにしてください。
- 重要な個人情報、本機に登録しないようにしてください。
- 下記のような場合は、設定した暗号鍵の内容など、必要な利用者情報はメモなどに控え、本機をお買い上げ時の状態に初期化してください（68 ページ）。
 - 本機を譲渡・廃棄する場合
 - 本機を貸し出す場合
 - 本機を修理に出す場合
- 本機を修理に出す場合は、お買い上げの販売店へ依頼するようにしてください。

本製品は、お客様固有のデータ（暗号鍵、発着信履歴など）を登録または保持可能な製品です。製品内のデータ流出などの不測の損害などを回避するために、本製品を廃棄（または譲渡、返却）される際には、製品内に登録または保持されたデータを必ず消去してください（68 ページ）。

ネットワーク上での情報の漏えいを防ぐために

- 重要な会議に使用する場合は、盗聴対策のとらえているネットワーク上で本機を使用してください。
- 本機は、適切に管理されたLAN上で使用し、不正アクセスが行われないようにしてください。
- 本機と接続するパソコンのセキュリティは、常に最新の状態にしてください。

プライバシー・肖像権について

本機の設置や利用につきましては、ご利用されるお客様の責任で被写体のプライバシー（マイクで拾われる音声に対するプライバシーを含む）、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。

- 「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。
- 本機は着信に強制応答するため、親拠点からの着信と同時に通信が始まります。着信側は、予定外の時刻や予定外の相手先からの着信においても同様に通信が開始されます。設定（50 ページ）により不特定の相手からの着信を制限しない場合、予期せぬ自動着信によりプライバシー・肖像権の侵害、機密情報の漏えいの恐れがありますのでご注意ください。

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。
*個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン（通則編）」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

記号について

本機などで示される記号の意味を説明しています。

 直流を示します。

 交流を示します。

同梱物一覧

付属品／添付品について

次のものが付属／添付されていますのでご確認ください。

付属品

ACアダプター（極性統一形プラグ）（品番：PGLV1006）	1
ACコード	1
専用USB変換ケーブル（品番：PGWD1933ZAJ1）	1

お知らせ

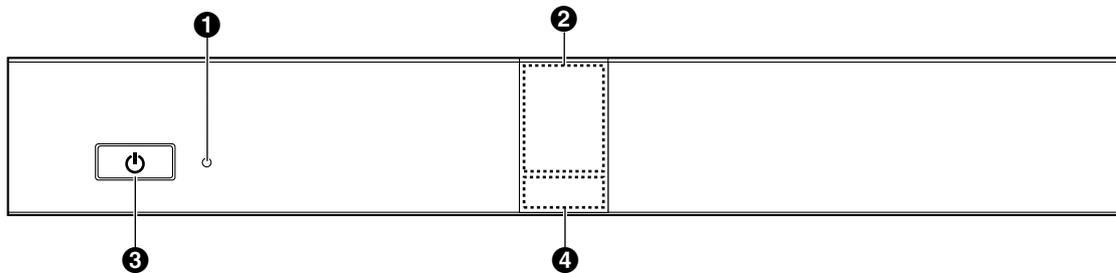
- リモコンは付属していません。リモコンを使用するときは、HD 映像コミュニケーションユニットに付属のリモコンを使用してください。

添付品

安全上のご注意とお知らせ	1
保証書	1

各部のなまえとはたらき

本体（前面）



① 電源ランプ

電源の状態を表示します（17 ページ）。ACアダプターから給電されているときは緑または赤色に点灯し、給電されていないときは消灯しています。また、リモコン操作有効時は緑で点滅します。

② リモコン受信部

リモコンからの信号を受信します。最大受信範囲は本体正面で約8 m、左右それぞれ約20° の位置で約3 mです。

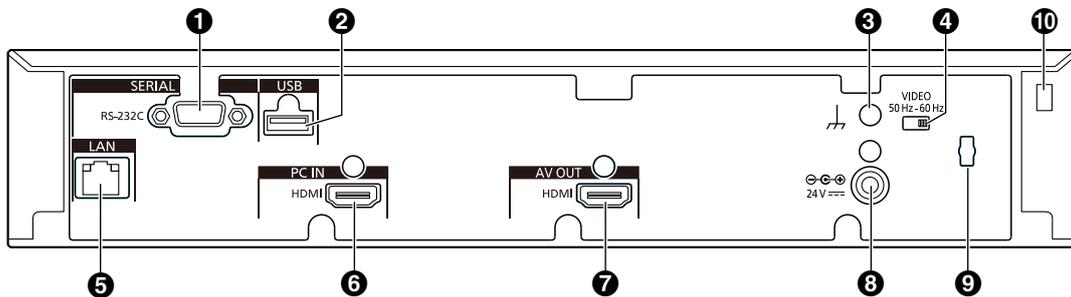
③ 電源ボタン

電源の「入/切」を行います（24 ページ）。

④ 状態ランプ

本体の状態を表示します（17 ページ）。

本体（背面）



- ① RS-232C端子**
 通常は使用しません。メンテナンス用パソコンを接続するときに使用します。
- ② USB端子**
 パソコンを接続するときに使用します（21 ページ）。また、動作ログの保存やソフトウェア更新で USBメモリーを接続するときに使用します（69 ページ、66 ページ）。
- ③ 機能アース端子**
 ノイズが多い場合、アース（接地）を取り付けるときに使用します。
- ④ Videoスイッチ**
 本体の映像周波数を設定します。
 接続する機器の映像周波数と同一に設定します（日本国内は通常60 Hzです）。
- ⑤ LANジャック（20 ページ）**
 LANケーブルを接続します。
- ⑥ HDMI端子（PC端子）（21 ページ）**
 パソコンを接続するときに使用します。
- ⑦ HDMI端子（テレビ端子）（19 ページ）**
 テレビをHDMIケーブルで接続するときに使用します。
- ⑧ DC IN端子（20 ページ）**
 専用ACアダプターのDCコードを接続します。
- ⑨ フック**
 DC IN端子の抜け防止に使用します。
- ⑩ 盗難防止ワイヤー取付穴**
 盗難防止用ワイヤー金具（市販品）を取り付けます。

ランプ表示

ランプ表示で本体の状態を確認することができます。

電源ランプ	状態ランプ	本体の状態
消灯	消灯	<ul style="list-style-type: none"> AC電源OFF（ACアダプターからの給電なし）
赤（点灯）	消灯	<ul style="list-style-type: none"> AC電源ON（電源ボタンOFF）
緑（点滅）	緑（点滅）	<ul style="list-style-type: none"> 起動途中
赤（点滅）	消灯	<ul style="list-style-type: none"> ハード障害発生中
緑（点灯）	緑（点滅）	<ul style="list-style-type: none"> 起動状態 待ち受け状態
緑（点灯）	緑（点灯）	<ul style="list-style-type: none"> 通信中
緑（点灯）	赤（点灯）	<ul style="list-style-type: none"> 障害発生中 保守メンテナンス中 バージョンアップ中
緑（点灯）	赤（点滅）	<ul style="list-style-type: none"> 重大な障害発生中
緑（点灯）	消灯	<ul style="list-style-type: none"> スクリーンスタンバイ状態
緑（点灯）	黄（点滅）	<ul style="list-style-type: none"> ゲートウェイボックス通信エラー
緑（点灯）	黄（点灯）	<ul style="list-style-type: none"> パソコン解像度エラー

お知らせ

- リモコン操作有効時は、電源ランプが0.5秒周期（0.25秒点灯、0.25秒消灯）で緑色に点滅します（起動途中の点滅は1秒周期です）。ただし、通信中は電源ランプの状態にかかわらず、リモコン操作は無効です。
- 状態ランプが黄色に点滅したらテレビを接続し、以下の表を参照してエラーの内容および設定・接続を確認してください。

表示場所	表示内容	原因	関連する設定・接続
状況表示エリア	アイコン表示	LANケーブル未接続	本体を接続する（19 ページ）
ホーム画面の本体情報	「アドレス未取得」表示	IPアドレス未取得	ネットワークの設定をする（47 ページ）
ホーム画面の本体情報	「サーバー未登録」表示	SIPサーバー、H.323ゲートウェイ登録失敗	SIPの設定をする（62 ページ） H.323の設定をする（64 ページ）
通信履歴	自動発信の接続先との結果に✕を表示	自動発信失敗	自動接続の設定をする（50 ページ）

スクリーンスタンバイ

通信していない状態でリモコンの操作を約10分間（デフォルト）行わなかった場合、またはリモコンの【スタンバイ】を押すと、スクリーンスタンバイ状態になります。スクリーンスタンバイ状態になるとテレビへの映像の出力が停止され、状態ランプが消灯します。

リモコンの操作を行ったり、着信があると、スクリーンスタンバイ状態は解除されます。

お願い

- 本機でスクリーンスタンバイ状態を解除しても、映像が映らないときは、テレビの省電力機能を解除してください。解除のしかたは、それぞれの取扱説明書を参照してください。

お知らせ

- スクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を変更することができます（51 ページ）。
- リモコンの操作を行ってスクリーンスタンバイ状態を解除した場合は、常にホーム画面が表示されます。
- スクリーンスタンバイ状態のとき、リモコンの操作を行ってもスクリーンスタンバイ状態が解除されるだけで、操作したボタンの機能は実行されません。
- 設定画面などの編集作業中にスクリーンスタンバイ状態へ移行した場合は、保存していない変更は破棄されます。
- スクリーンスタンバイ状態を解除して、映像が映るまでに、約7秒かかります。（かかる時間はお使いのテレビの種類により異なります。）

接続と準備

お知らせ

- 設定により、不特定の相手からの着信を防止し、特定の相手（ビデオ会議の親拠点）からの着信だけに応答することができます（50 ページ）。

接続機器と環境

ゲートウェイボックスの接続には、本機のほかにパソコンと接続用ケーブルが必要です。また、設定や状況確認をするときにテレビが必要です。

機器	条件
パソコン	HDMI出力 USB2.0インターフェイス
テレビ	HDMI入力あり 映像周波数が本体と同じであること

ケーブル

以下の市販品のケーブルをご準備ください。

HDMIケーブル：

カテゴリ-2（HIGH SPEED）推奨

お知らせ

- HDMI 端子の接続には、HDMI ロゴが表記されているケーブル（HDMI認証品）をお使いください。HDMI ロゴが表記されていないケーブル（HDMI 非認証品）を使用すると、正しく動作しない場合があります。適合性のよいHDMIケーブルをお使いください。

LANケーブル：

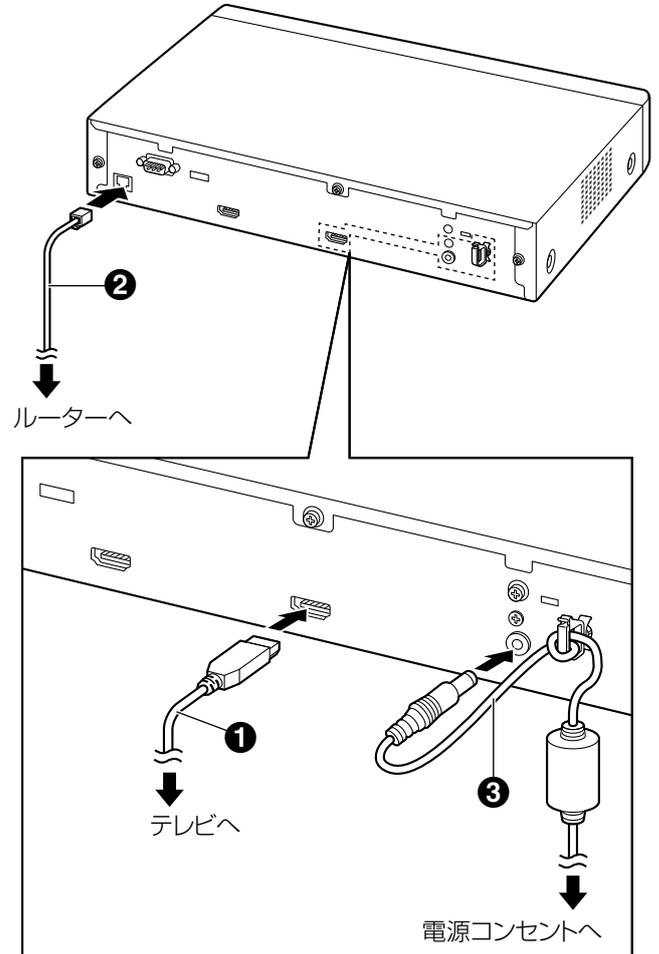
100BASE-TX 全二重
カテゴリ-5以上

USBケーブル：

Type A オス—Type B オス

本体を接続する

ここではテレビ、LANケーブル、ACアダプター、ACコードの接続のしかたを説明します。



お願い

- 必ず付属のACコードを使用してください。

お知らせ

- 接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。

1 テレビを接続する（設定などで必要な場合）

- HDMI ケーブル (1) でテレビと本体背面のHDMI端子をつないでください。

お知らせ

- パナソニック（株）製テレビの場合は、次の確認をしてください。
 - 業務用PDPの設定例：「画面位置/サイズメニュー」で水平・垂直位置/サイズを調整してください。

音声の調整、音量オートおよびサラウンドをオフに設定してください。

- 民生用テレビの設定例：
「設定する」の「画面の設定」の「HD表示領域」を「フルサイズ」に設定してください。

2 ネットワークに接続する

- カテゴリー5以上のLANケーブル (②) でハブと本体背面のLANジャックをつないでください。

お知らせ

- ハブの設定はオートネゴシエーションに設定してください。
- 半二重に設定されたハブに接続しないでください。

3 専用ACアダプターとACコードを接続する

- 必ず本体に付属のACコードを使用してください。

4 専用ACアダプターのDCコード (③) を本体背面のDC IN端子に差し込む

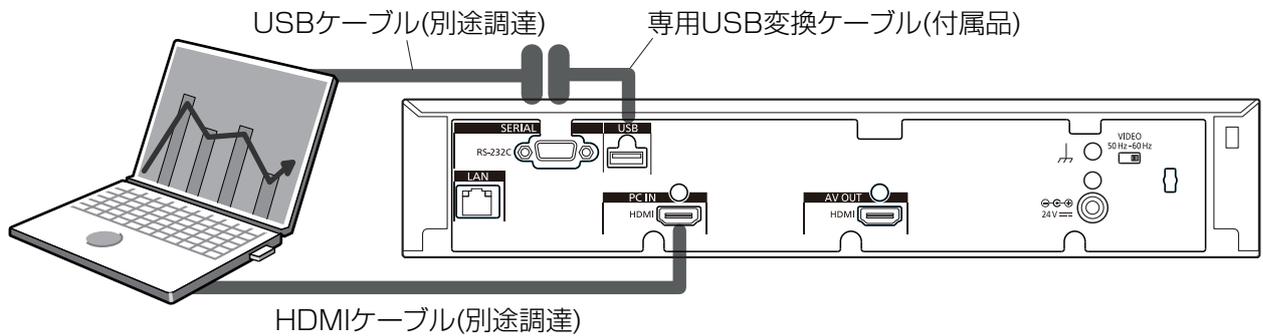
- 必ず本体に付属の専用ACアダプターを使用してください。
- DCコードを抜け防止のフックに巻きつけてください。

5 電源プラグを電源コンセントに差し込む

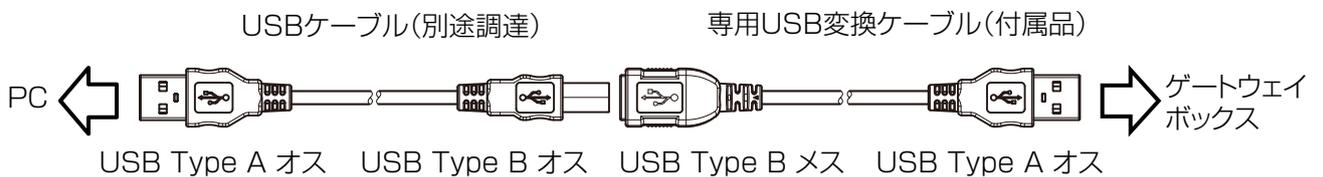
- 電源プラグは、抜き差しが容易にできる近くの電源コンセントに接続してください。

パソコンの接続

パソコンとゲートウェイボックスを以下のように接続してください。



USBケーブルの接続



お知らせ

- 必ず付属の専用USB 変換ケーブル (PGWD1933ZAJ1) を使用してください。
- パソコン画面共有に対応している解像度はVGA (640 × 480)、SVGA (800 × 600)、XGA (1024 × 768)、HD (1280 × 720)、WXGA (1280 × 768、1280 × 800)、SXGA (1280 × 1024)、FWXGA (1360 × 768、1366 × 768)、WXGA+ (1440 × 900)、WXGA++ (1600 × 900)、UXGA (1600 × 1200)、WSXGA+ (1680 × 1050)、Full-HD (1920 × 1080) です。

USBメモリーの接続

ログの保存などでUSBメモリーを使用する場合、パソコンを外してUSBメモリーを接続します。次の手順で接続・操作してください。

1 ビデオ会議の親拠点と通信中の場合、通信を切断する

お知らせ

- 通信の切断は本機ではできません。ビデオ会議の親拠点から切断操作を行ってください。

2 専用USB 変換ケーブルをUSB 端子から抜き、USB メモリーを接続する

3 【メニュー】 を押す

- メニュー画面が表示されます

お知らせ

- リモコン操作が無効な場合は有効にしてください (23 ページ)。

- 「**自動発信**」が「**有効**」の場合（50 ページ）、通信を切断して30 秒以内に手順3 を行ってください。

4 メニューからUSBメモリーを使用する操作を開始する

5 USBメモリーの使用が終了したらUSBメモリーを取り外し、専用USB変換ケーブルとUSBケーブルでパソコンを接続する

リモコン操作の有効化・無効化

HD 映像コミュニケーションユニットに付属のリモコンを、ゲートウェイボックスでも使用できるようにします。

お知らせ

- ゲートウェイボックスにテレビを接続し、ホーム画面（待ち受け画面）を表示した状態で操作してください。
- ゲートウェイボックスのホーム画面に表示されるリモコンID（26 ページ）と同じID が設定されたリモコンを使用してください。「**リモコンID の設定**」（52 ページ）を「**しない**」に設定している場合、ホーム画面にリモコンID は表示されず、すべてのID のリモコンが使用できます。

リモコン操作を有効にする場合

- ゲートウェイボックスのリモコン受信部にリモコンを向けて、**【*】【0】【#】** を順番に押す
 - リモコン操作の有効化を確認するダイアログボックスが表示されます。
- 【◀】【▶】** で「**はい**」を選び、**【決定】** を押す
 - リモコン操作が有効になり、電源ランプが緑色に0.5 秒周期（0.25秒点灯、0.25秒消灯）で点滅します。

リモコン操作を無効にする場合

- ゲートウェイボックスのリモコン受信部にリモコンを向けて、**【*】【0】【#】** を順番に押す
 - リモコン操作の無効化を確認するダイアログボックスが表示されます。
- 【◀】【▶】** で「**はい**」を選び、**【決定】** を押す
 - リモコン操作が無効になり、電源ランプが緑色で点灯します。

お知らせ

- ゲートウェイボックスに初めて電源を入れたとき（初期設定時）は、リモコン操作が有効になります。初期設定を完了するとリモコン操作が無効になります。
- リモコン操作が有効な状態で電源を切って再度入れたり、自動または手動で再起動したりすると、リモコン操作が無効になります。ただし、初期設定未完了時は無効になりません。
- リモコン信号の受信範囲（15 ページ）に、同じリモコンで操作可能なHD 映像コミュニケーションユニットがある場合、誤って操作しないようにHD 映像コミュニケーションユニットの電源を切るなどしてください。
- 【スタンバイ】** はリモコン操作が無効でも使用できます。
- リモコン操作を有効にしても、通信中はリモコンを使えません。

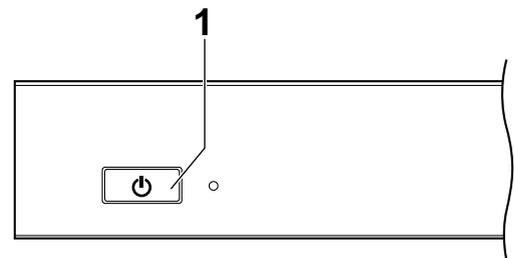
電源を入れる／切る

お知らせ

- テレビを接続している場合、テレビの電源が入っていることを確認してください。
- 初めて電源を入れた場合は初期設定画面が表示されます（30 ページ）。
- 電源ランプが緑の状態でもACアダプターを抜いて電源を切った場合、ACアダプターを挿して給電を再開すると電源を入れた状態（電源ランプが緑）に戻ります。
- 自動で電源を入れたり切ったりすることができます（65 ページ）。

1 本体前面の電源ボタンまたはリモコンの電源ボタンを1秒以上押す（電源オン／オフ共通）

- 電源を入れると、電源ランプが緑色に点滅します。その後、電源ランプが緑色点灯し、状態ランプが緑色にゆっくり点滅してホーム画面が表示されます。

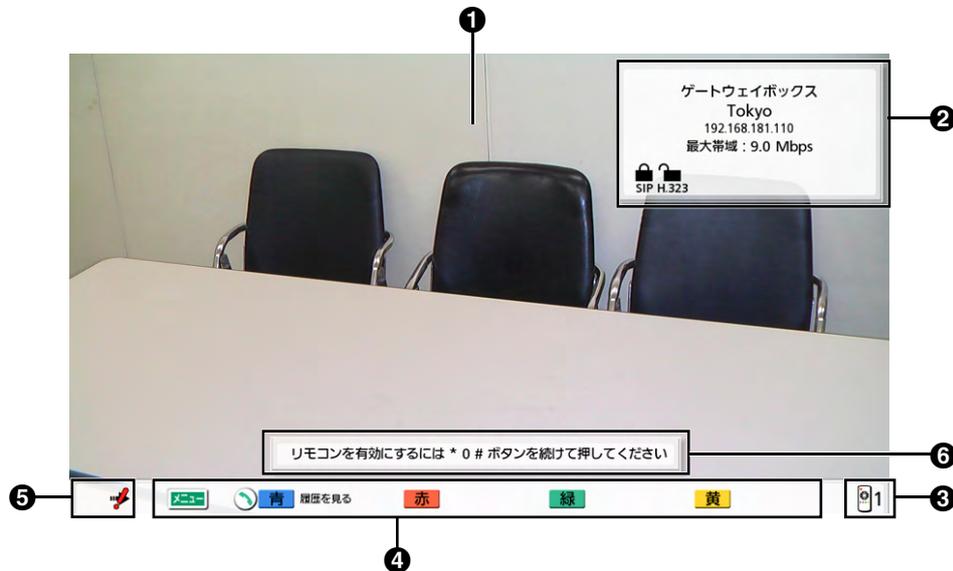


- 電源を切ると、電源ランプが赤になります。

画面の見かた

ホーム画面（待ち受け画面）

電源を入れる则表示されます。リモコンの【ホーム】を押しても表示されます。



① 映像エリア

パソコンから送信された映像を表示します。

② 本体情報

本体名（ゲートウェイボックス）、拠点名、SIPユーザー名（SIPサーバー使用時）、H.323内線番号、H.323名（ゲートキーパー使用時）、IPアドレス、最大帯域、暗号通信利用状況アイコン

お知らせ

- 拠点名、SIPユーザー名、H.323内線番号、またはH.323名が画面に収まらない場合は、末尾が"…"に置き換わります。

暗号通信利用状況アイコン

SIP、H.323使用時の暗号通信の設定状況をアイコンで表示します。

アイコンの詳細は以下のとおりです。

アイコン	設定状況
	「SIPの使用」で「する」を選び、「暗号通信（SIP）」で「有効」を選んでいました。
	「SIPの使用」で「する」を選び、「暗号通信（SIP）」で「無効」を選んでいました。
	「H.323の使用」で「する」を選び、「暗号通信（H.323）」で「接続性優先」を選んでいました。

アイコン	設定状況
 H.323	「H.323の使用」で「する」を選び、「暗号通信 (H.323)」で「有効」を選んでいきます。
 H.323	「H.323の使用」で「する」を選び、「暗号通信 (H.323)」で「無効」を選んでいきます。

③ リモコンID

本体のリモコンIDを表示します（設定時のみ）（52 ページ）。

④ ショートカットキーエリア

システム設定を呼び出すショートカットキーを表示します（66 ページ）。

⑤ 状況表示エリア

アイコンで本体の状況を表示します。

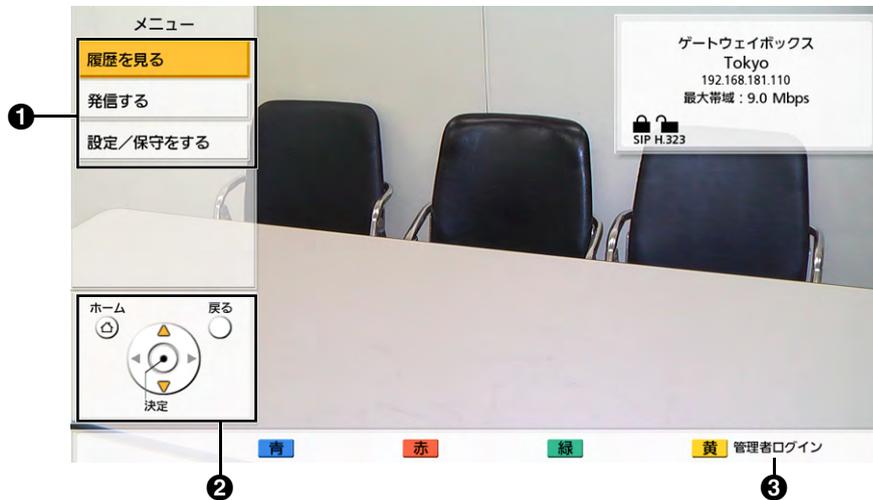
アイコン	本体の状況
	ネットワークや各種サーバーの接続エラー（未接続・機器の故障など）が発生中 お知らせ <ul style="list-style-type: none"> LANケーブルなど他の機器が未接続の場合や機器の故障で接続に不具合がある場合は、アイコンが表示されます。

⑥ リモコンガイドエリア

リモコン操作を有効または無効にするためのガイドを表示します。

メニュー画面（待ち受け画面）

リモコンの【メニュー】を押すと表示されます。機能を実行したり、設定を変更するときに表示します。



① メニュー一覧

さまざまな機能を使用したり、設定を行うためのメニューが表示されます。

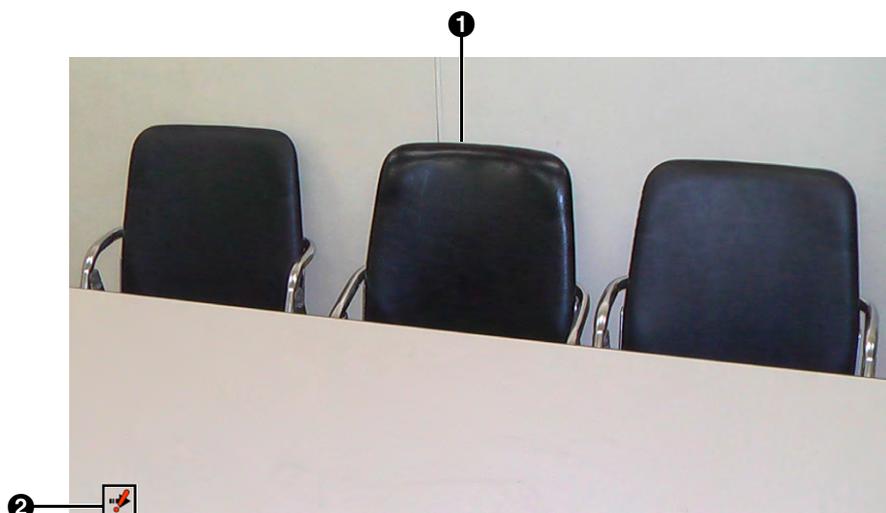
② ガイドエリア

機能の実行時／設定の変更時に、操作可能なリモコンのボタンを表示し、操作をサポートします。

③ 管理者ログイン

【黄】を押すと、管理者設定を行うための管理者ログイン画面が表示されます。

通信中画面



- ① 映像エリア
ビデオ会議の親拠点から送られる映像を表示します。
- ② 状況表示エリア
アイコンで本体の状況を表示します（26 ページ）。

お知らせ

- リモコン操作を有効にしても、通信中はリモコンを使えません。

入力について

- リモコンでカタカナ、アルファベット、数字を入力することができます。73 ページを参照してください。
- 宛先の入力や登録で入力可能な文字は次のとおりです。
 - SIPユーザー名：英数字、記号 . = * + _ - \$ ~ ! ? / () ' (半角で最大60文字)
 - H.323名：英数字、記号 . @ : ; = * + # _ - \$ \% ~ ^ ! ? / ` () [] { } ' (半角で最大60文字)
 - SIPドメイン名：英数字、記号 . - (半角で最大128文字)
 - H.323内線番号：数字、記号 * # (半角で最大20文字)
- 「ユーザー名@ドメイン名」形式のホスト名の場合、「ユーザー名」「ドメイン名」に入力可能な文字と文字数は「SIPユーザー名」「SIPドメイン名」と同じです。
- 発信時に宛先を直接入力する場合、入力可能な文字は次のとおりです。
 - SIPの場合：英数字、記号 . @ : ; = * + _ - \$ ~ ! ? / () ' (半角で最大189文字)
 - H.323の場合：英数字、記号 . @ : ; = * + # _ - \$ \% ~ ^ ! ? / ` () [] { } ' (半角で最大189文字)
 SIPの場合、ユーザー名部分 (@の前) が半角で最大60文字、ドメイン名部分 (@の後ろ) が半角で最大128文字です。
- 規格に準拠した値を入力してください。詳細についてはネットワーク管理者にご相談ください。

IPv6アドレスについて

- IPv6アドレスを手動で設定する場合、省略形式または省略しない形式で入力できます (73 ページ)。
(入力例)
2001:db8::10
2001:0db8::0010
2001:db8:0:0:0:0:0:10
2001:0db8:0000:0000:0000:0000:0000:0010

初期設定

お知らせ

- 初期設定は初回に電源を入れたときに表示します。次回からは表示されません。
- 初期設定中はリモコン操作が有効になります。リモコンに設定されたIDにかかわらず操作できます。
- 本機の電源を入れた後、言語、機器、日時、ネットワークの設定をします。この設定は後で変更することができます。

1 電源ボタンを押して、本機の電源を入れる

- 言語設定画面が表示されます。



2 【決定】 を押し、【▲】 【▼】 で言語を選ぶ

お知らせ

- 選択可能な言語は以下のとおりです：
 「日本語」(デフォルト)、 「English」：英語、
 「简体中文」 「繁體中文」：中国語、
 「Deutsch」：ドイツ語、 「Français」：フランス語、
 「Italiano」：イタリア語、
 「Español」：スペイン語、
 「Nederlands」：オランダ語、
 「Português」：ポルトガル語、
 「Русский язык」：ロシア語、
 「العربية」：アラビア語

3 【決定】 を押す

4 【緑】 を押す

5 【◀▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- 機器の設定画面が表示されます。

お知らせ

- 手順2で「繁體中文」を選択した場合、再起動後に機器の設定画面が表示されます。

6 【▲】 【▼】 で以下の項目を選び、入力する 「拠点名」：本機の拠点名（全角、半角共通で最大24文字）を入力する（73 ページ）

お知らせ

- カタカナ、アルファベット、数字が入力できます。
- & < > , " を使用したい場合は、カナモード（全角）で入力してください。

「接続先への通知 (SIP)」：【◀▶】 で、親拠点へ拠点名を通知するかどうかを選ぶ

- 「する」(デフォルト)：拠点名を親拠点へ通知します。
- 「しない」：拠点名を親拠点へ通知しません。

「接続先への通知 (H.323)」：【◀▶】 で、親拠点へ拠点名を通知するかどうかを選ぶ

- 「する」：拠点名を親拠点へ通知します。
- 「しない」(デフォルト)：拠点名を親拠点へ通知しません。



7 【緑】 を押す

8 【◀▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- 日時の設定画面が表示されます。

9 【▲】 【▼】 で設定したい項目を選び、入力する

- 西暦（4桁）、月（1～2桁）、日（1～2桁）、時刻（24時間表示）を入力し、日付表示形式

(月/日/年、日/月/年、年/月/日)、時間表示(12時間/24時間)を選択してください。

10【緑】を押す

11【◀ ▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- ネットワークの設定画面が表示されます。

12【▲ ▼】で以下の項目を選び、入力する

「IPアドレスの設定」：【◀ ▶】で本機のIPアドレス情報(「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」)をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- 「自動」(デフォルト)：IPアドレス情報を自動的に取得します。
- 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「自動」に設定していても、ネットワーク障害の発生などによりIPアドレス情報を取得できない場合があります。この場合、ホーム画面の右上に「アドレス未取得」と表示されます。ネットワーク管理者にご相談ください。

「IPアドレス」：本機のIPアドレスを入力する

「サブネットマスク」：サブネットマスクを入力する

「デフォルトゲートウェイ」：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」は、「IPアドレスの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「001」のような入力はしないでください。

例：「192.168.0.1」の場合：

(正) 192.168.0.1

(誤) 192.168.000.001

「DNSの設定」：【◀ ▶】でDNSサーバーのIPアドレス情報(「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」)をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- 「自動」(デフォルト)：IPアドレス情報を自動的に取得します。
- 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「自動」を選ぶには、「IPアドレスの設定」を「自動」に設定している必要があります。
- バージョンアップの確認、ネットワークから最新バージョンのダウンロードを行うためには、DNSサーバーの設定が必要です。

「優先DNSサーバー」：優先DNSサーバーのIPアドレスを入力する

「代替DNSサーバー」：代替DNSサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」は、「DNSの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
 - 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「001」のような入力はしないでください。
- 例：「192.168.0.1」の場合：
- (正) 192.168.0.1
- (誤) 192.168.000.001

13【緑】を押す

14[◀] [▶] で「はい」を選び、【決定】を押す

- 自動的に再起動し、設定内容が反映されます。

お知らせ

- IPアドレスやサブネットマスクに無効な値を入力した場合、再度有効な値を入力するようにメッセージが表示されます。
- IPアドレスはマルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
- 手順14を完了して再起動すると、リモコン操作は無効になります。
- 手順5を完了する前に電源を切り再起動すると、手順1から開始されます。手順5を完了して再起動した場合は、手順6から再開します。
- 手順11を完了する前に電源を切り再起動すると、手順6から開始されます。手順11を完了して再起動した場合は、手順12から再開します。
- 中断した初期設定を再開すると、リモコン操作は有効になります。

会議の相互接続を開始する

ビデオ会議の親拠点となるHD 映像コミュニケーションユニット（以降、親拠点と記載）とゲートウェイボックスが通信することで、ビデオ会議とWeb 会議を相互接続します。次の順番で接続してください。

- 1 ゲートウェイボックスとパソコンをケーブルで接続する
- 2 ゲートウェイボックスと親拠点が通信を開始する
- 3 パソコンのWeb会議アプリケーションを起動して、Web 会議を開始する

手順2でゲートウェイボックスが親拠点と通信を開始するには、以下の方法があります。

- ゲートウェイボックスの自動接続機能で発信する
- 親拠点からゲートウェイボックスへ発信する
- ゲートウェイボックスから親拠点へ手動で発信する

自動接続機能で接続する

- 1 ゲートウェイボックスの電源を入れる
 - 親拠点へ自動発信します。

お知らせ

- 「自動発信」を「有効」に設定し、「接続先」に親拠点のアドレスを設定してください（50 ページ）。

親拠点からゲートウェイボックスへ発信する

- 1 親拠点からゲートウェイボックスへ発信する
 - 発信の方法は、HD 映像コミュニケーションユニット取扱説明書を参照してください。
- 2 ゲートウェイボックスが自動で応答する

お知らせ

- 親拠点以外の相手からの着信を制限することができます（50 ページ）。

ゲートウェイボックスから親拠点へ手動で発信する

- 1 ゲートウェイボックスにテレビを接続し、リモコン操作を有効にする（23 ページ）
- 2 ゲートウェイボックスから親拠点へ発信する
 - 発信の方法は、「発信する（37 ページ）」を参照してください。

相互接続の開始

親拠点とゲートウェイボックスが通信することで、ビデオ会議とWeb 会議の映像・音声は相互に共有されます（図1）。

- ビデオ会議の映像・音声は、ゲートウェイボックスからパソコン(A)のUSB 端子へ出力されます。

- パソコン(A)の映像・音声、パソコン(A)からゲートウェイボックスのHDMI端子へ出力されます。

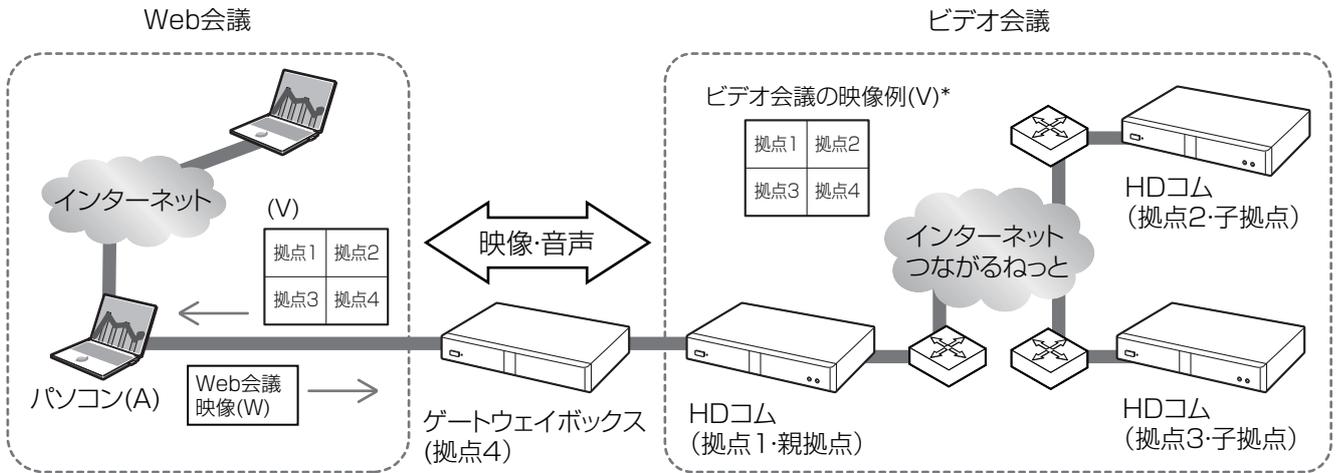


図1

お知らせ

- パソコン(A)のWeb会議アプリケーションで、映像入出力・音声入出力の設定がパナソニックのデバイスに設定されていることを確認してください。
- ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)の複数ディスプレイ設定を「表示画面を複製する」に設定してください。「表示画面を拡張する」に設定すると、画面上で内容を確認できない映像がゲートウェイボックスに出力され、ビデオ会議で共有される可能性があります。
- パソコン(A)をスリープ、ロック、休止状態にしたり、パソコン(A)のUSBケーブルを抜き差ししないでください。ビデオ会議の映像・音声をWeb会議で共有できなくなることがあります。共有できなくなった場合は、Web会議に参加するパソコンのWeb会議アプリケーションを再起動して、Web会議を再開してください。
- ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)のカメラで資料などを映すと、文字が反転した映像になります。
- Web会議のパソコンの画面に、ビデオ会議の映像(V)が反転して表示される場合は、Web会議アプリケーションのミラー効果の設定を確認してください。
- ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)の画面に、共有したビデオ会議の映像(V)を表示しないでください。表示した映像がビデオ会議に送られ、ビデオ会議映像の一部としてパソコン(A)に戻ってきた場合、同じ映像が無限に表示される現象が発生します。

(現象が発生した映像例)

拠点1	拠点2	
拠点3	拠点1	拠点2
	拠点3

コンテンツを共有する

子拠点のコンテンツを共有する

1 ビデオ会議の子拠点で【PC】を押す（図2）

- 子拠点に接続したパソコン(B)の画面がビデオ会議で共有され、ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)のUSB 端子へ出力されます。

お知らせ

- パソコン(A)の画面に表示される映像のレイアウトは、Web会議アプリケーションの設定によります。

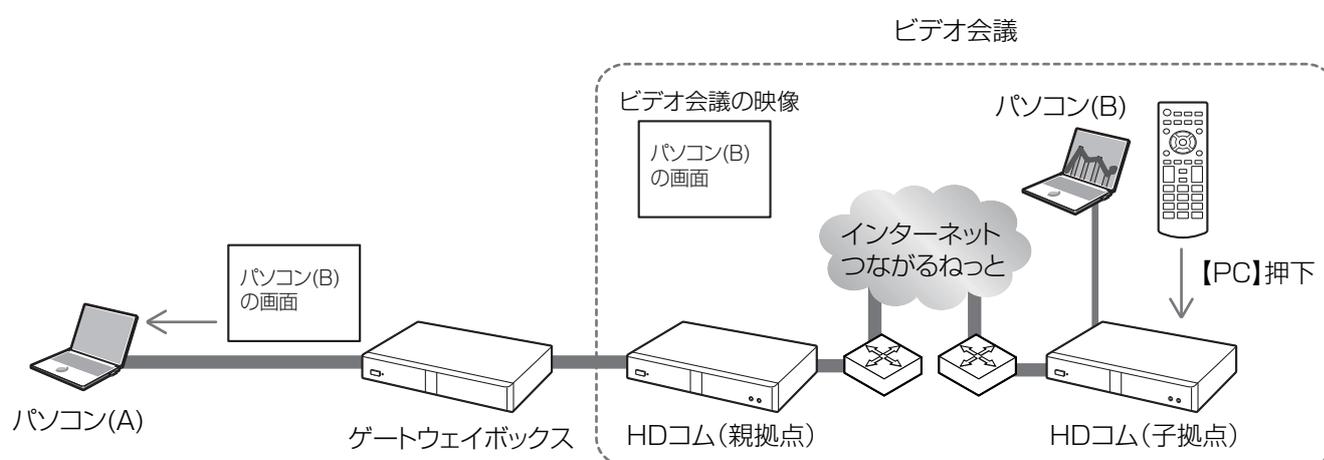
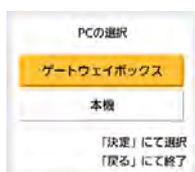


図2

Web会議や親拠点のコンテンツを共有する

1 ビデオ会議の親拠点で【PC】を押す

- コンテンツ共有するパソコンを選択するダイアログボックスが表示されます。



- 「ゲートウェイボックス」：ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)から出力される映像を共有します（図3）。
- 「本機」：親拠点に接続したパソコン(C)の画面を共有します（図4）。

お知らせ

- 親拠点にパソコン(C)が接続されていない場合、ダイアログボックスは表示されず、ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)のHDMI 端子から出力された映像がビデオ会議で共有されます。

- 親拠点のソフトウェアバージョンが6.00 未満の場合、ダイアログボックスは表示されず、親拠点に接続したパソコン(C)の画面がビデオ会議で共有され、ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)のUSB 端子へ出力されます。

2 Web会議のコンテンツを共有する場合 (図3)

【▲】【▼】で「ゲートウェイボックス」を選び、【決定】を押す

- ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)のHDMI 端子から出力された映像がビデオ会議で共有されます。

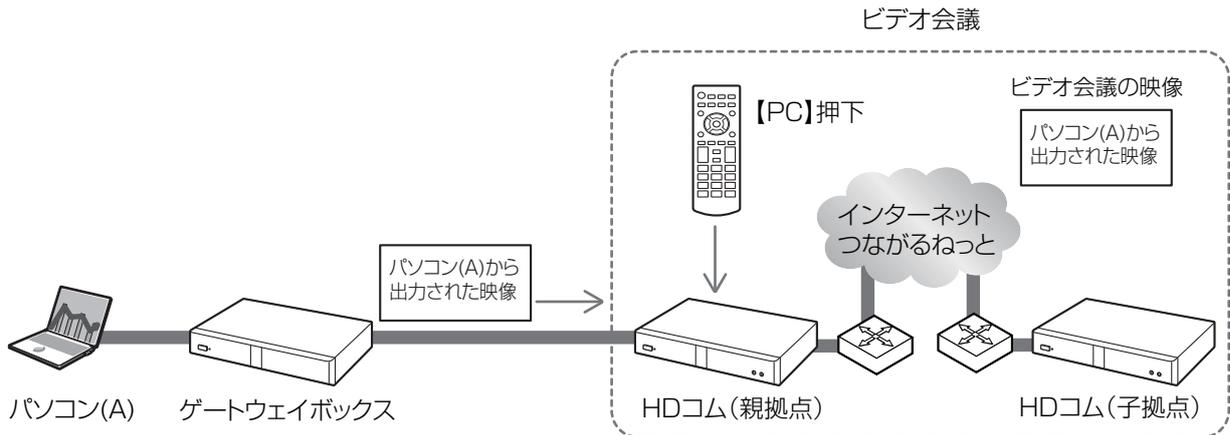


図3

親拠点のコンテンツを共有する場合 (図4)

【▲】【▼】で「本機」を選び、【決定】を押す

- 親拠点に接続したパソコン(C)の画面がビデオ会議で共有され、ゲートウェイボックスに接続したパソコン(A)のUSB 端子へ出力されます。

お知らせ

- パソコン(A)の画面に表示される映像のレイアウトは、Web会議アプリケーションの設定によります。

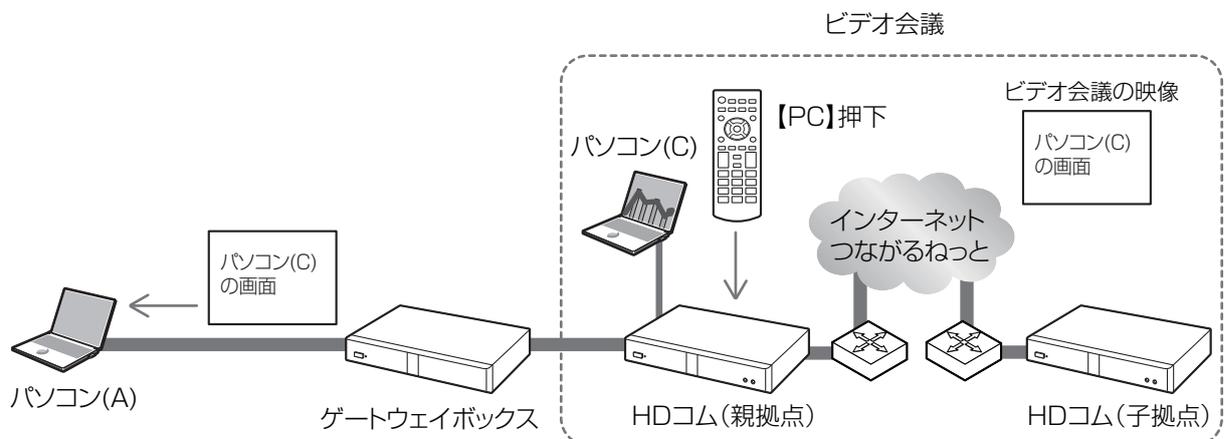


図4

発信する

手動で発信する場合、テレビを接続しリモコン操作を有効にして、次の方法で発信してください。

お知らせ

- 発信後、一定時間（約60～100秒）内に親拠点から応答がなかった場合、自動的に発信を中止します。
- 2地点通信のみ発信することができます。
- 発信操作中、呼び出しを開始する前に着信制限されていない相手から着信があると、自動で応答します。

宛先を直接入力して発信する

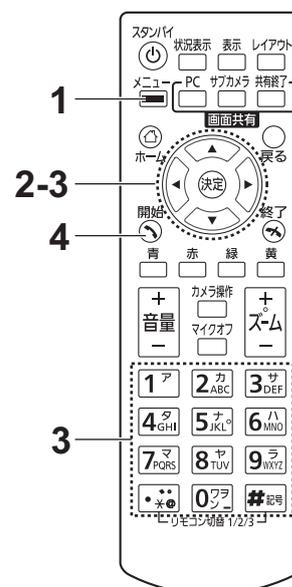
親拠点のIPアドレス（またはホスト名）、SIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名を入力して発信します。

- 1 【メニュー】を押す
 - メニュー画面が表示されます。
- 2 【▲】【▼】で「発信する」を選び、【決定】を押す
 - ダイレクト入力画面が表示されます。



お知らせ

- 手順1、手順2の代わりにホーム画面で【開始】を押しても、ダイレクト入力画面が表示されます。
- 3 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する
 「接続モード」：【決定】を押し、【▲】【▼】で「標準モード (SIP)」、「標準モード (H.323)」を選ぶ
 「接続先」：IPアドレス（またはホスト名）、SIP-URI（またはSIPユーザー名）、H.323内線番号、H.323名を入力する
 「発信帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で発信帯域（指定なし [デフォルト]、256 kbps～18 Mbps）を選ぶ（選択肢の最大値のデフォルト：9.0 Mbps）



4 【開始】 を押し、通信する

お知らせ

- 通信の切断は本機ではできません。通信を終了するときは、親拠点から切断操作を行ってください。

お知らせ

- IPv4アドレスで1桁または2桁の数値を含むIPアドレスを入力する場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はいしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
(正) 192.168.0.1
(誤) 192.168.000.001
- IPv6アドレスの入力形式は29 ページを参照してください。
- IPv6アドレスでポート番号を指定して発信する場合、IPv6アドレスを[]で囲んでください。
(入力例) [2001:db8::10]:5060
- SIP-URI (SIPユーザー名@SIPドメイン名) を入力して発信するには、「**SIPサーバーの使用**」を「**する**」に設定し、「**SIPサーバーアドレス**」、「**SIPユーザー名**」、「**SIPドメイン名**」を設定する必要があります。必要に応じて「**ダイジェスト認証**」、「**認証用ID**」、「**認証用パスワード**」の設定も行ってください (62 ページ)。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 自分と同じSIPドメインへ発信する場合は、SIPユーザー名のみでの入力でも発信できます。自分と異なるSIPドメインへ発信する場合は、SIPユーザー名に加えてSIPドメイン名の入力が必要です。SIPドメイン名を入力しなかった場合は、自分のSIPドメイン名が自動的に付与されて発信します。誤った相手に発信する可能性がありますのでご注意ください。
- 宛先の入力で入力可能な文字は29 ページを参照してください。
- 通信タイプの設定画面 (62 ページ) で「**しない**」に設定された項目は、接続モードで設定できません。
- H.323を使用する場合、宛先として次のように入力して発信することができます。
 - IPアドレス (またはホスト名) %H.323内線番号 (またはH.323名)
 - IPアドレス (またはホスト名) ##H.323内線番号 (またはH.323名)
- ダイレクト入力画面から次の手順で、通信履歴から宛先を選んで入力することができます。
 1. **【緑】** を押す
 - 発信履歴一覧画面が表示されます。
 2. **【▲】** **【▼】** で親拠点を選ぶ
 - **【緑】** を押すと発信履歴と着信履歴が切り替わります。
 3. **【決定】** を押す
 - 接続先に表示されている文字・数字を直接入力して変更するには、**【黄】** を押して表示を削除してから入力してください。

通信履歴から発信する

通信履歴から親拠点に発信することができます。通信履歴は発信履歴と着信履歴に分かれます。発信履歴と着信履歴には、発着信の履歴が新しい順に100件まで記憶されています。アドレス情報^{*1}、日時、通信時間、通信結果、接続モードなどの情報が発信履歴、着信履歴にそれぞれ表示されます。

^{*1} アドレス情報は次のとおりです。

IPアドレス／ホスト名／SIP-URI／H.323内線番号／H.323名

お知らせ

- 親拠点が自分と同じSIPドメイン名を設定している場合、通信履歴には、SIP-URI（SIPユーザー名@SIPドメイン名）ではなくSIPユーザー名のみが表示されます。

発信履歴：

- 続けて同じ親拠点に発信すると、すべての履歴が発信履歴に記憶されます。
- IPアドレス（またはホスト名）／SIP-URI（またはSIPユーザー名）／H.323内線番号／H.323名を直接入力して発信した場合、親拠点から拠点名の通知（47 ページ）があれば、通知された拠点名が表示されます。拠点名の通知がない場合は入力した宛先が表示されます。

着信履歴：

- 親拠点から拠点名の通知（47 ページ）がある場合は、通知された拠点名が表示されます。拠点名の通知がない場合は、かけてきた親拠点のIPアドレス（またはホスト名）／SIP-URI／H.323内線番号／H.323名が表示されます。
- 続けて同じ親拠点から着信（暗号設定不一致などの異常着信や、着信制限による着信拒否を含む）があった場合、すべての履歴が着信履歴に記憶されます。

1 【メニュー】を押す

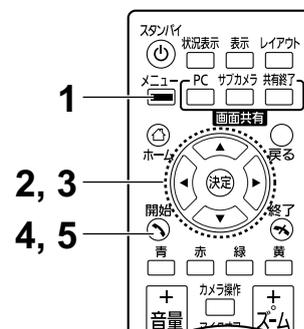
- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「履歴を見る」を選び、【決定】を押す

- 発信履歴一覧画面が表示されます。



発信履歴	接続先	日時	通話時間	結果
	192.168.181.111	2020/07/13 14:23	01:10:50	成功
	192.168.181.111	2020/07/12 14:21	01:10:23	成功
	192.168.181.111	2020/07/09 19:33	00:58:30	成功
	192.168.181.112	2020/07/08 19:33	00:44:15	成功
	192.168.181.111	2020/07/07 15:30	00:55:20	成功
	192.168.181.113	2020/07/07 10:05	02:01:48	成功
	192.168.181.113	2020/07/06 12:23	01:00:01	成功
	192.168.181.113	2020/07/01 20:42	02:01:22	成功
	192.168.181.112	2020/06/01 20:32	01:01:44	成功



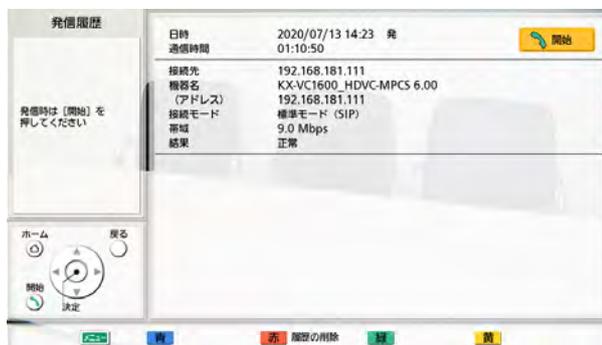
お知らせ

- 通信の結果は、「**結果**」に次のとおり表示されます。
 - ○：親拠点とつながった場合
 - ×：親拠点とつながらなかった場合
- **【緑】** を押すと、着信履歴画面に切り替わります。**【緑】** を押すたびに、発信履歴画面と着信履歴画面を切り替えることができます。

3 **【▲】【▼】** で発信したい親拠点を選ぶ

お知らせ

- **【決定】** を押すと、履歴詳細画面が表示されます。



- 「**帯域**」には接続拠点との調停帯域を表示します。
- 親拠点によっては、「**機器名**」には何も表示されないことがあります。

4 **【開始】** を押す

- 発信のダイレクト入力画面が表示されます。

お知らせ

- 接続先のアドレスを編集することができます。

5 **【開始】** を押し、通信する

お知らせ

- 通信の切断は本機ではできません。通信を終了するときは、親拠点から切断操作を行ってください。

着信に応答する

着信制限されていない相手から着信があると、自動的に応答して通信が開始されます。

お知らせ

- 設定画面などの編集作業中に着信した場合、保存していない変更は破棄されます。

接続状況を表示する

ネットワークや周辺機器の接続状況を確認することができます。

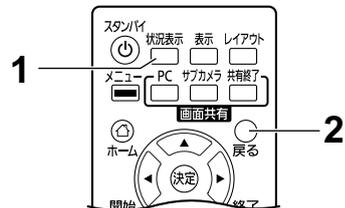
1 待ち受け中に【状況表示】を押す

- 接続表示画面が表示されます。接続や接続機器に不具合がある箇所、または接続されていない機器がある箇所には「—」のマークが表示されます。



2 【戻る】を押す

- 接続表示画面を表示させる前の画面に戻ります。

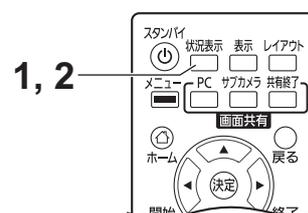


機器情報を表示する

- 1 待ち受け中に【状況表示】を押す
 - 接続表示画面が表示されます。
- 2 【状況表示】を押す
 - 機器情報表示画面が表示されます。

拠点名	: Tokyo
MACアドレス	: ██████████
IPアドレス	: 192.168.181.110 / 255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	: 192.168.181.1
DNSサーバー	: 203.119.1.1
最大帯域	: 9.0 Mbps
暗号通信 (SIP)	: 有効
暗号通信 (H.323)	: 無効
バージョン情報	: ██████████
映像周波数	: 60Hz

青 赤 次ページ 緑 黄



- 機器情報表示画面は、2画面に渡って表示されます。
【赤】を押すと次の画面へ、【青】を押すと前の画面へ移動し、すべての項目を表示することができます。

お知らせ

- 「暗号通信 (SIP)」 / 「暗号通信 (H.323)」には暗号通信の有効 / 無効 / 接続性優先が表示されます。

システムの設定／保守をする

本機の各種機能を設定・変更・確認することができます。

お知らせ

- 入力中に着信があると着信に応答し、保存していない変更は破棄されます。

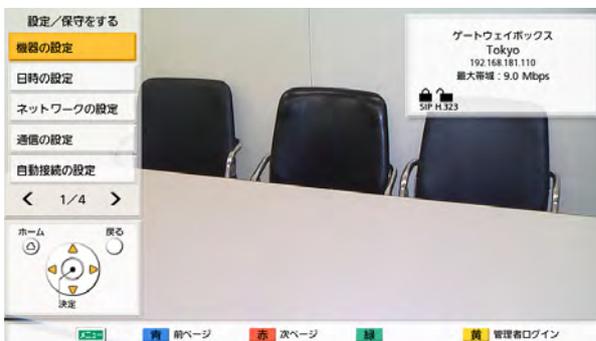
1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

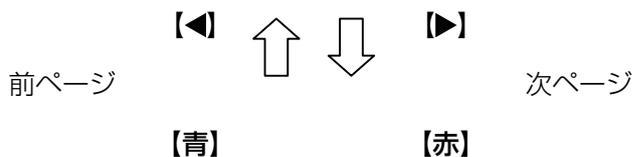
2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。

システム設定画面一覧

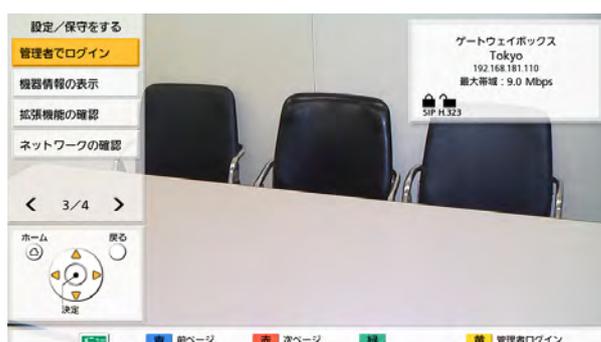
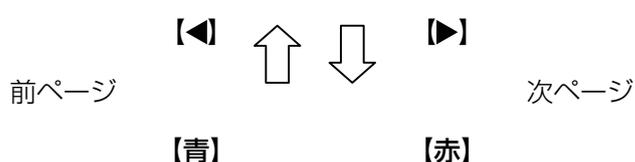


- 1 機器の設定：
拠点名を設定します（47 ページ）。
- 2 日時の設定：
日時を設定します（47 ページ）。
- 3 ネットワークの設定：
ネットワークの設定をします（47 ページ）。
- 4 通信の設定：
通信で使用する項目を設定します（49 ページ）。
- 5 自動接続の設定：
HD映像コミュニケーションユニットに自動で発信したり、不特定の相手からの着信を制限するための設定をします（50 ページ）。

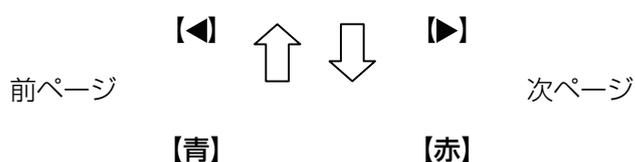




- ⑥ スタンバイの設定：
スクリーンスタンバイに移行する時間を設定します (51 ページ)。
- ⑦ 音の設定：
起動や通信開始時などの音の設定をします (51 ページ)。
- ⑧ リモコンの設定：
リモコンと本体にIDを設定します (52 ページ)。
- ⑨ 言語の設定：
表示する言語を設定します (53 ページ)。



- ⑩ 管理者でログイン：
管理者メニューの設定画面に移行します (56 ページ)。
- ⑪ 機器情報の表示：
本体の設定情報を表示することができます (53 ページ)。
- ⑫ 拡張機能の確認：
ソフトウェア拡張機能により有効にした機能を確認することができます (54 ページ)。
- ⑬ ネットワークの確認：
IPアドレスを指定して、ネットワーク接続を確認することができます (54 ページ)。





- ⑭ ライセンス情報：
ライセンスやオープンソースソフトウェアについての情報を表示することができます (54 ページ)。
- ⑮ 使用許諾契約：
使用許諾契約についての情報を表示することができます (55 ページ)。
- ⑯ リモートメンテナンス：
販売店によるリモートメンテナンスを実行するための操作を行います (55 ページ)。

3 【▲】【▼】で設定する項目を選び、【決定】を押す

- 選択した画面が表示されるので、各画面 (①～⑯) の説明に従って設定します。

4 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

拠点名を設定する

- 1 「機器の設定」を選び、**【決定】** を押す
 - 機器の設定画面が表示されます。
- 2 **【▲】** **【▼】** で以下の項目を選び、入力する
「拠点名」：本機の拠点名（全角、半角共通で最大24文字）を入力する（73 ページ）

お知らせ

- **& < > , ”** を使用したい場合は、カナモード（全角）で入力してください。

「接続先への通知 (SIP)」：**【◀】** **【▶】** で、親拠点へ拠点名を通知するかどうかを選ぶ

- 「**【する】**」（デフォルト）：拠点名を親拠点へ通知します。
- 「**【しない】**」：拠点名を親拠点へ通知しません。

「接続先への通知 (H.323)」：**【◀】** **【▶】** で、親拠点へ拠点名を通知するかどうかを選ぶ

- 「**【する】**」：拠点名を親拠点へ通知します。
- 「**【しない】**」（デフォルト）：拠点名を親拠点へ通知しません。

- 3 **【緑】** を押す
 - 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。
- 4 **【◀】** **【▶】** で「はい」を選び、**【決定】** を押す
 - システム設定画面が表示されます。

日時を設定する

- 1 「日時の設定」を選び、**【決定】** を押す
 - 日時の設定画面が表示されます。
- 2 **【▲】** **【▼】** で項目を選び、情報を入力する
 - 西暦（4桁）、月（1～2桁）、日（1～2桁）、時刻（24時間表示）を入力し、日付表示形式（月／日／年、日／月／年、年／月／日）、時間表示（12時間／24時間）を選択してください。

- 3 **【緑】** を押す
 - 設定の保存と保存後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。
- 4 **【◀】** **【▶】** で「はい」を選び、**【決定】** を押す
 - 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

ネットワークの設定をする

お知らせ

- 項目は複数画面に渡って表示されます。文字入力中以外は **【赤】** を押すと次の画面へ、**【青】** を押すと前の画面へ移動し、すべての項目を表示することができます。
- 設定を変更した場合、変更した画面で **【緑】** を押して設定を保存してください。

LANの設定をする

- 1 「ネットワークの設定」を選び、**【決定】** を押す
 - ネットワークの設定画面が表示されます。
- 2 **【▲】** **【▼】** で以下の項目を選び、入力する
「IPアドレスの設定」：**【◀】** **【▶】** で本機のIPアドレス情報（「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ
 - 「**【自動】**」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。
 - 「**【手動】**」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「**【自動】**」に設定していても、ネットワーク障害の発生などによりIPアドレス情報を取得できない場合があります。この場合、ホーム画面の右上に「**【アドレス未取得】**」と表示されます。ネットワーク管理者にご相談ください。

「IPアドレス」：本機のIPアドレスを入力する
「サブネットマスク」：サブネットマスクを入力する
「デフォルトゲートウェイ」：デフォルトゲートウェイのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」は、「IPアドレスの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
(正) 192.168.0.1
(誤) 192.168.000.001

「DNSの設定」：【◀ ▶】でDNSサーバーのIPアドレス情報（「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」）をDHCPサーバーから自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- 「自動」（デフォルト）：IPアドレス情報を自動的に取得します。
- 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「自動」を選ぶには、「IPアドレスの設定」を「自動」に設定する必要があります。
- 次の機能を使用するためには、DNSサーバーの設定が必要です。
 - ホスト名での発信
 - ホスト名でのSIPサーバー/ゲートキーパーアドレスの設定
 - バージョンアップの確認
 - ネットワークからの最新バージョンのダウンロード

「優先DNSサーバー」：優先DNSサーバーのIPアドレスを入力する

「代替DNSサーバー」：代替DNSサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」は、「DNSの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「優先DNSサーバー」、「代替DNSサーバー」の値が1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：

- (正) 192.168.0.1
- (誤) 192.168.000.001

3 LANの設定を変更した場合：【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されるので、設定を保存してください。

IPv6の設定をする場合：【赤】を押す

- 次ページが表示されます。

IPv6の設定をする

4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「IPv6の使用」：「する」、「しない」（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- 「する」を選ぶと、機器情報表示画面では、IPv4アドレスとIPv6アドレスの両方を表示します。ホーム画面右上にはIPv4アドレスのみ表示します。

「IPv6アドレスの設定」：IPv6アドレスを自動的に取得するか、手動で設定するかを選ぶ

- 「自動 (SLAAC)」(デフォルト)：IPアドレス情報を自動的にルーターから取得します。
- 「自動 (DHCP)」：IPアドレス情報を自動的にDHCPサーバーから取得します。
- 「手動」：IPアドレス情報を手動で設定します。

お知らせ

- 「自動 (DHCP)」に設定した場合、デフォルトゲートウェイのアドレスはルーター広告 (RA : Router Advertisement) から取得します。
- 「自動 (SLAAC)」または「自動 (DHCP)」に設定していても、ネットワーク障害の発生などによりIPアドレス情報を取得できない場合があります。この場合、機器情報表示画面でIPv6アドレスは「-」と表示されます。ネットワーク管理者にご相談ください。

「IPv6アドレス」：本機のIPv6アドレスを入力する
「プレフィックス長」：IPv6アドレス用のプレフィックス長を入力する

「IPv6 デフォルトゲートウェイ」：IPv6用のデフォルトゲートウェイのIPv6アドレスを入力する

お知らせ

- 「IPv6アドレス」、「プレフィックス長」、「IPv6 デフォルトゲートウェイ」は、「IPv6アドレスの設定」を「手動」に設定している場合のみ入力可能です。
- 「IPv6アドレス」、「IPv6 デフォルトゲートウェイ」の入力形式は29 ページを参照してください。
- 「IPv6アドレス」にはグローバルアドレスを設定してください。

「IPv6 優先DNSサーバー」：IPv6用の優先DNSサーバーのIPv6アドレスを入力する

「IPv6 代替DNSサーバー」：IPv6用の代替DNSサーバーのIPv6アドレスを入力する

お知らせ

- 「IPv6 優先DNSサーバー」、「IPv6 代替DNSサーバー」の入力形式は29 ページを参照してください。

5 IPv6の設定を変更した場合：【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されるので、設定を保存してください。

通信の設定をする

1 「通信の設定」を選び、【決定】を押す

- 通信設定画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

お知らせ

- 通信タイプ設定画面（62 ページ）で「SIPの使用」を「しない」に設定している場合、「暗号通信（SIP）」は設定できません。
- 通信タイプ設定画面（62 ページ）で「H.323の使用」を「しない」に設定している場合、「暗号通信（H.323）」は設定できません。

「最大帯域」：【決定】を押し、【▲】【▼】で最大帯域（256 kbps～18 Mbps）を選ぶ（デフォルト：9.0 Mbps）

「画質（PC）」：【決定】を押し、【▲】【▼】で映像の動きのなめらかさと解像度のどちらを優先させるかを選ぶ

- 「動き優先」：動きのなめらかさを優先させます。
 - 「解像度優先」（デフォルト）：画質を優先させます。
- 「優先制御」：【◀】【▶】で低帯域時やネットワーク混雑時に、音声と映像のどちらを優先させるかを選ぶ
- 「音声優先」（デフォルト）：低帯域時の音声品質を優先させ、ネットワーク混雑時の音声の乱れを防止します。
 - 「映像優先」：低帯域時やネットワーク混雑時でも、映像品質を優先させます。
- 「暗号通信（SIP）」：【◀】【▶】で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ
- 「有効」：暗号通信を有効にします。
 - 「無効」（デフォルト）：暗号通信を無効にします。
- 「暗号通信（H.323）」：【決定】を押し、【▲】【▼】で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ
- 「接続性優先」：親拠点が暗号化通信を「有効」に設定しているときは、暗号化通信が有効になります。「無効」に設定しているときは、暗号化せず通信します。
 - 「有効」：暗号通信を有効にします。
 - 「無効」（デフォルト）：暗号通信を無効にします。

お知らせ

- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。
- 「暗号通信（SIP）」、「暗号通信（H.323）」の設定ができない場合は、ネットワーク管理者にご連絡ください。

「送信帯域制御」：【◀】【▶】で送信帯域制御を有効にするかどうかを選ぶ

- 「有効」（デフォルト）：送信帯域制御を有効にします。
- 「無効」：送信帯域制御を無効にします。

お知らせ

- 「無効」に設定した場合、同じネットワークを利用するほかの通信に影響を与えるときがあります。

【映像送信最小帯域】：送信帯域制御による通信中の最小帯域（0 kbps、64 kbps ～ 1500 kbps）を入力する（デフォルト：0 kbps）

お知らせ

- 最小帯域を無効にするときは0を入力します。

3 【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀ ▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- システム設定画面が表示されます。

自動接続の設定をする

1 「自動接続の設定」を選び、【決定】 を押す

- 自動接続設定画面が表示されます。

2 【▲ ▼】 で以下の項目を選び、入力する

【自動発信】：【◀ ▶】 で自動発信機能を有効にするかどうかを選ぶ

- 「有効」：自動発信機能を有効にします。
- 「無効」（デフォルト）：自動発信機能を無効にします。

お知らせ

- 「自動発信」を「有効」に設定すると、以下の場合に「接続先」に自動発信します。
 - 電源オン時（手動、自動）
 - システム再起動時
 - HD 映像コミュニケーションユニットとの通信切断時
- 通信切断時は約30 秒後に自動発信します。
- 親拠点が応答しない場合、呼び出し（約60～100秒）と休止（約30秒）を繰り返し、呼び出し開始後約10 分で自動発信を中止します。

- 30秒の呼び出し休止中にメニュー画面を表示すると自動発信を中止し、以降の呼び出しを行いません。
- 「接続先」に設定されたHD映像コミュニケーションユニットは、通信を切断しても再び呼び出されます。一定時間待ち受け中にしたい場合は、手動応答を設定して応答しないようにするか、ゲートウェイボックスの「自動発信」を「無効」に設定してください。

【着信制限】：【◀ ▶】 で着信制限機能を有効にするかどうかを選ぶ

- 「有効」：着信制限機能を有効にします。
- 「無効」（デフォルト）：着信制限機能を無効にします。

お知らせ

- 「有効」に設定すると、「接続先」に設定した相手が「通信タイプ」に設定した通信タイプでゲートウェイボックスに発信した場合にだけ着信します。

【通信タイプ】：【◀ ▶】 で「SIP」（デフォルト）、「H.323」を選ぶ

【接続先】：IP アドレス（またはホスト名）、SIP-URI（またはSIP ユーザー名）、H.323 内線番号、H.323名を入力する

お知らせ

- IPv4アドレスを入力するとき、1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001
- IPv6アドレスの入力形式は29 ページを参照してください。
- ポート番号を付加してIPv6アドレスを入力する場合、IPv6アドレスを[]で囲んでください。
（入力例）[2001:db8::10]:5060
- 親拠点が自分と同じSIPドメイン名を設定している場合は、SIPユーザー名のみでの入力登録できません。自分と異なるSIPドメイン名の場合は、SIPユーザー名に加えてSIPドメイン名の入力が必要です。

- SIPドメイン名を入力しなかった場合は、自分のSIPドメイン名が自動的に付与され登録されます。意図しない相手を登録する可能性がありますのでご注意ください。
- 宛先の入力で入力可能な文字は29 ページを参照してください。
- H.323を使用する場合、次のように入力することができます。
 - IPアドレス（またはホスト名）%H.323内線番号（またはH.323名）
 - IPアドレス（またはホスト名）##H.323内線番号（またはH.323名）
- H.323を使用する場合、H.323内線番号、H.323名のどちらでも通信できるときは、H.323内線番号を設定してください。
- 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

3 【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀ ▶】 で「はい」 を選び、【決定】 を押す

- システム設定画面が表示されます。

お知らせ

- 「通信タイプ」と「接続先」は、「自動発信」または「着信制限」を「有効」に設定している場合に設定可能です。
- 「自動発信」を「無効」から「有効」に変更したときは、電源を一度切ったあと再度入れて本機を再起動してください。
- 「自動発信」と「着信制限」を「有効」に設定すると、「接続先」は両方の機能で使用されません。

スクリーンスタンバイの設定をする

ある一定期間、リモコンの操作を行わない場合や着信がない場合、スクリーンスタンバイ状態に移行します。スクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間を設定することができます。

1 「スタンバイの設定」を選び、【決定】 を押す

- スクリーンスタンバイ設定画面が表示されます。

2 本機がスクリーンスタンバイ状態に移行するまでの時間（分）（0～99）を入力する（デフォルト：10）

お知らせ

- 「0」に設定した場合、本機は自動的にスクリーンスタンバイ状態に移行しません。リモコンの【スタンバイ】を押すと、「0」に設定した場合でも、スクリーンスタンバイ状態に移行します。

3 【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀ ▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- システム設定画面が表示されます。

音の設定をする

1 「音の設定」を選び、【決定】 を押す

- 音設定画面が表示されます。

2 【▲ ▼】 で以下の項目を選び、入力する

「起動音量」：【決定】 を押し、【▲ ▼】 で起動時の音量レベル（「切」、「小」、「中」[デフォルト]、「大」）を選ぶ

「発信音量」：【決定】 を押し、【▲ ▼】 で発信音の音量レベル（「切」、「小」、「中」[デフォルト]、「大」）を選ぶ

「着信音量」：【決定】 を押し、【▲ ▼】 で着信音の音量レベル（「切」、「小」、「中」[デフォルト]、「大」）を選ぶ

「発信音」：【決定】 を押し、【▲ ▼】 で発信音のパターン（「パターン1」～「パターン5」）を選ぶ（デフォルト：「パターン1」）

「着信音」：【決定】 を押し、【▲ ▼】 で着信音のパターン（「パターン1」～「パターン5」）を選ぶ（デフォルト：「パターン1」）

「通信開始時の音量」：【◀ ▶】 で通信開始時の音量レベル（0～20）を選ぶ（デフォルト：16）

「通信開始時の音質」：【決定】 を押し、【▲】 【▼】 で通信開始時の音質（「高音強調」、「標準」 [デフォルト]、「低音強調」、「音声」、「音楽」）を選ぶ

お知らせ

- 【赤】 を押しと以下の項目を試聴することができます。
 - 「起動音量」
 - 「発信音量」
 - 「着信音量」
 - 「発信音」
 - 「着信音」
- 試聴中の項目の右側に音符のアイコンが表示されます。試聴中に【赤】 を押しと試聴を停止します。

3 【緑】 を押し

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押し

- システム設定画面が表示されます。

リモコンの設定をする

リモコンと本体にリモコンID（1、2、3）を設定することができます。

リモコンIDが同じリモコンからの信号に本体は反応します。リモコンIDを設定しない場合、本体はすべてのリモコンからの信号に反応します。ホーム画面で本体のリモコンIDを確認することができます（26 ページ）。

1 「リモコンの設定」を選び、【決定】 を押し

- リモコン設定画面が表示されます。

2 【▲】 【▼】 で以下の項目を選び、入力する 「リモコンIDの設定」：【◀▶】 で「する」、「しない」(デフォルト) を選ぶ

- 「する」 を選ぶと、本体のリモコンIDを設定することができます。
- 「しない」 を選ぶと、本体はすべてのリモコンに反応します。

「本体のリモコンID」：【◀▶】 で本体のリモコンID（「ID1」 [デフォルト]、「ID2」、「ID3」）を選ぶ

「IDの不一致確認」：【◀▶】 で「する」(デフォルト)、「しない」 を選ぶ

- 「する」 を選ぶと、本体に設定したIDと異なるリモコンからの信号を、ホーム画面を表示中に受信したとき、警告画面が表示されます。画面上の次の手順に従って、リモコンIDを変更してください。
- 「しない」 を選ぶと、本体に設定したIDと異なるリモコンから信号を受信しても、ホーム画面に警告画面は表示されません。

お知らせ

- 近くで複数のリモコンIDを使用している場合は、「IDの不一致確認」を「しない」に設定してください。

3 【緑】 を押し

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押し

5 「リモコンIDの設定」を「する」に設定している場合：

リモコンのIDを変更するダイアログボックスが表示されます。手順6にすすんでください。

お知らせ

- ダイアログボックスが表示されている間は、着信できません。

「リモコンIDの設定」を「しない」に設定している場合：

システム設定画面が表示されます。【ホーム】 を押し、ホーム画面に戻ります。

6 次の手順に従って、リモコンのIDを変更する

1 【・】 と【#】 を同時に押したままにする

2 ボタンを離して2秒以内に、手順1の「本体のリモコンID」で設定したIDと一致する番号（1～3）を押す

- 1: ID1
- 2: ID2
- 3: ID3

7 **【決定】** を押す

- ダイアログボックスが消えて、本体のリモコンIDが保存されます。

お知らせ

- ダイアログボックスが消えない場合は、上記の手順をくり返し実行してください。何度実行してもダイアログボックスが消えない場合は、電源を一度切ったあと再度入れ直して、設定を中止してください。詳細については、販売店へお問い合わせください。

言語の設定をする

1 「言語の設定」を選び、**【決定】** を押す

- 言語設定画面が表示されます。

2 **【決定】** を押し、**【▲】** **【▼】** で言語を選ぶ

お知らせ

- 選択可能な言語は以下のとおりです：
「日本語」（デフォルト）、「English」：英語、
「簡体中文」「繁体中文」：中国語、
「Deutsch」：ドイツ語、「Français」：フランス語、
「Italiano」：イタリア語、
「Español」：スペイン語、
「Nederlands」：オランダ語、
「Português」：ポルトガル語、
「Русский язык」：ロシア語、
「العربية」：アラビア語
- 「簡体中文」を選択した場合、言語が切り替わったあと、アラビア語の選択肢は「Arabic」と表示されます。
- 「繁体中文」を選択した場合、言語が切り替わったあと、選択肢の一部は次のように表示されます。

フランス語：「French」、スペイン語：「Spanish」、ロシア語：「Russian」、アラビア語：「Arabic」

3 **【決定】** を押す

4 **【緑】** を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

5 **【◀】** **【▶】** で「はい」を選び、**【決定】** を押す

「繁体中文」に変更した場合

「繁体中文」から変更した場合

- 自動的に再起動します。
上記以外
- システム設定画面が選択した言語で表示されます。

お知らせ

- 誤って希望しない言語に切り替えてしまった場合は、次の手順で設定を変更してください。
 1. **【ホーム】** を押す
 2. **【メニュー】** を押す
 3. **【▼】** を2回押して上から3つ目の項目を選び、**【決定】** を押す
 4. **【▶】** を1回押す
 - 次のページが表示されます。
 5. **【▼】** を3回押して上から4つ目の項目を選び、**【決定】** を押す
 - 言語設定画面が表示されます。
 6. 手順2からやり直す

機器情報を表示する

本機の設定情報を表示することができます。

1 「機器情報の表示」を選び、【決定】を押す

- 機器情報表示画面が表示されます（43 ページ）。



2 【戻る】を押す

- システム設定画面が表示されます。

拡張機能の確認を行う

ソフトウェアの拡張により有効にした機能を確認することができます（拡張機能は未提供です）。

1 「拡張機能の確認」を選び、【決定】を押す

- 拡張機能の確認画面が表示されます。



お知らせ

- 「ソフトウェア機能」には「登録されている機能はありません」と表示されます。

2 【戻る】を押す

- システム設定画面が表示されます。

ネットワーク接続の確認を行う

IPアドレスを指定して、ネットワーク接続を確認することができます。

お知らせ

- 通信履歴一覧画面からネットワーク接続の確認を行うことはできません。

1 「ネットワークの確認」を選び、【決定】を押す

- ネットワーク接続の確認画面が表示されます。

2 IPアドレスを入力する

お知らせ

- IPv4アドレスで1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。例：「192.168.0.1」の場合：
(正) 192.168.0.1
(誤) 192.168.000.001
- IPv6アドレスの場合の入力形式は29 ページを参照してください。
- ホスト名は入力できません。

3 【赤】を押す

- ネットワーク接続の確認を開始します。ネットワーク接続の確認が終わった後、確認が成功またはタイムアウトした場合は、結果の詳細が表示されます。確認が失敗した場合は、失敗を示すメッセージが表示されます。

4 【戻る】を押す

- システム設定画面が表示されます。

ライセンス情報を表示する

ライセンスやオープンソースソフトウェアについての情報を表示することができます。

1 「ライセンス情報」を選び、【決定】を押す

- ライセンス情報表示画面が表示されます。
- 【赤】を押すと次の画面へ、【青】を押すと前の画面へ移動します。

2 **【戻る】** を押す

- システム設定画面が表示されます。

使用許諾契約を表示する

使用許諾契約についての情報を表示することができます。

1 「使用許諾契約」を選び、**【決定】** を押す

- 使用許諾契約表示画面が表示されます。

2 **【戻る】** を押す

- システム設定画面が表示されます。

リモートメンテナンスを行う

販売店によるリモートメンテナンスを実行するために、次の操作を行います。操作を行った後、リモートメンテナンスが終了するまで本機を使用することはできません。電源を一度切ったあと再度入れ直すと、リモートメンテナンスを終了し、本機を使用することができます。詳細については、販売店へお問い合わせください。

1 「リモートメンテナンス」を選び、**【決定】** を押す

- リモートメンテナンスの開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

2 **【◀ ▶】** で「はい」を選び、**【決定】** を押す

- リモートメンテナンス画面が表示されます。



管理者メニューの設定をする

管理者メニューの一覧

本機の管理者用機能を設定・変更・確認することができます。

お知らせ

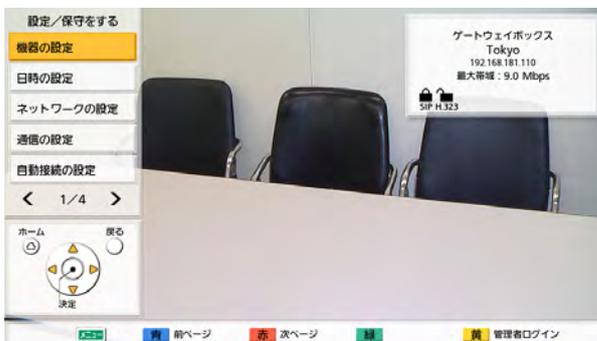
- 入力中に着信があると着信に応答し、保存していない変更は破棄されます。

1 【メニュー】を押す

- メニュー画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で「設定／保守をする」を選び、【決定】を押す

- システム設定画面が表示されます。



3 【◀】【▶】を押して、3ページ目を表示する

4 【▲】【▼】で「管理者でログイン」を選び、【決定】を押す

- 管理者ログイン画面が表示されます。



5 【▲】【▼】で「パスワード」を選び、パスワード（数字4～10桁）を入力する

お知らせ

- メニュー画面から「黄」を押しても管理者ログイン画面を表示することができます。
- パスワードは、設置時に設定した管理者メニューログイン用パスワードを入力してください。

- パスワードをお忘れになった場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

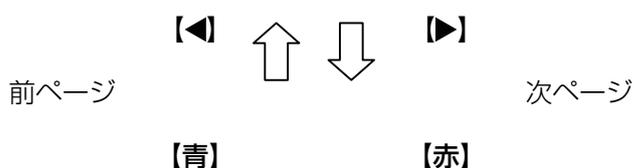
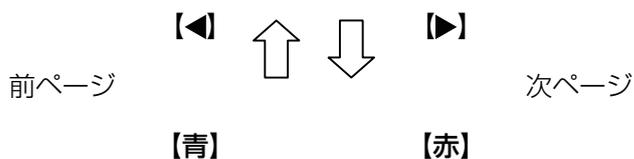
6 【▲】【▼】で「ログイン」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー一覧が表示されます。

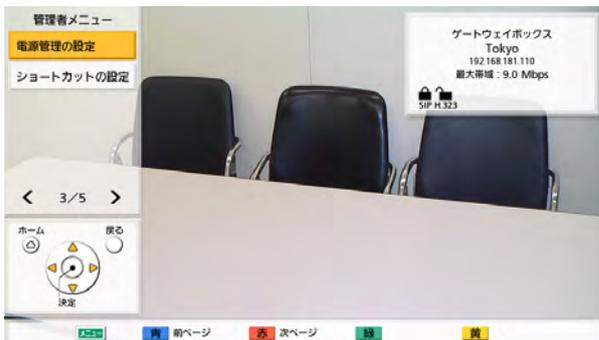
管理者メニュー画面一覧



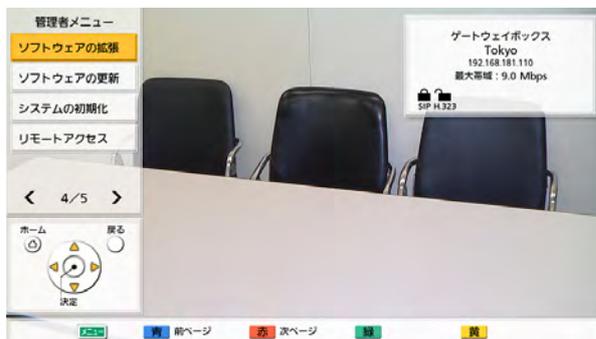
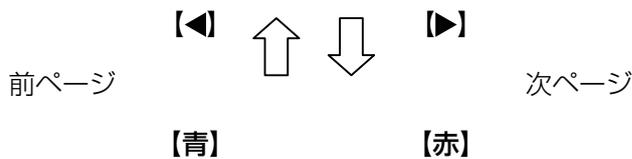
- 1 パスワードの設定：
本機の管理者用パスワードを設定します (60 ページ)。
- 2 暗号通信の設定：
暗号通信の有無や設定者などを設定します (60 ページ)。
- 3 バージョン確認の設定：
バージョンアップを行う前に、最新のバージョンを確認するための設定を行います (61 ページ)。
- 4 NATの設定：
NATの情報を設定します (61 ページ)。



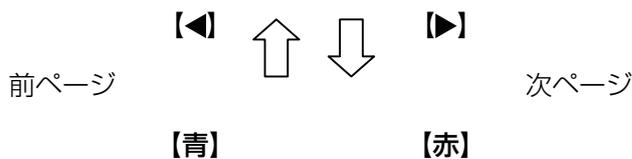
- 5 通信タイプの設定：
本機で使用する通信のタイプを設定します (62 ページ)。
- 6 SIPの設定：
SIPの設定を行います (62 ページ)。
- 7 H.323の設定：
H.323の設定を行います (64 ページ)。
- 8 音声入出力の設定：
音声の設定を行います (65 ページ)。
- 9 HDMI制御：
メンテナンス用のため、通常は使用しません。



- ⑩ 電源管理の設定：
自動電源オン・オフの設定をします
(65 ページ)。
- ⑪ ショートカットの設定：
リモコンのカラーキーに、ネットワーク
設定などの画面に、ショートカットで移
動できる機能を設定します (66 ペー
ジ)。



- ⑫ ソフトウェアの拡張：
拡張できる機能がないため、使用しま
せん。
- ⑬ ソフトウェアの更新：
USBメモリーからソフトウェアを更新
します (66 ページ)。
- ⑭ システムの初期化：
ソフトウェアの拡張で有効にした機能以
外の設定はすべて初期化されます
(68 ページ)。
- ⑮ リモートアクセス：
本機をリモート操作するための設定をし
ます (68 ページ)。



- ⑯ データのエキスポート：
通信履歴などの情報をエキスポートしま
す (69 ページ)。
- ⑰ データのインポート：
エキスポートしたデータをUSBメモ
リーからインポートします (70 ペー
ジ)。

7 【▲】【▼】で設定する項目を選び、【決定】を押す

- 選択した画面が表示されるので、各画面（①～⑰）の説明に従って設定します。

8 【ホーム】を押す

- ホーム画面が表示されます。

管理者パスワードの設定をする

1 「パスワードの設定」を選び、【決定】を押す

- パスワード設定画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で以下の項目を選び、パスワード（4～10桁）を入力する

「現在のパスワード入力」：現在のパスワードを入力する（デフォルト：00000000）

「新しいパスワードの入力」：新しいパスワードを入力する

「新しいパスワードの再入力」：新しいパスワードを再度入力する

お知らせ

- 設置時にログインパスワードを初期値から変更してください。
- パスワードは大切に保管してください。

3 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

暗号通信の設定をする

お知らせ

- 2地点通信時、両拠点の暗号通信の設定が一致しないと接続できません。ただし、H.323の通信で両拠点のいずれかが「暗号通信（H.323）」を「接続性優先」に設定した場合、暗号通信の設定が異なっても接続できます。
- 通信ができなくなる可能性がありますので、暗号通信の設定を変更するときはご注意ください。
- 第三者により暗号通信の設定を変更される恐れがあります。管理者パスワードの管理や、暗号通信の設定の権限を一般ユーザーに与えるときはご注意ください。
- SIPでの通信で暗号鍵が設定されていない場合は、暗号通信を有効にすることができません。

- 暗号通信を無効にした場合、盗聴対策のとられていないネットワークでは、盗聴される恐れがありますのでご注意ください。

1 「暗号通信の設定」を選び、【決定】を押す

- 暗号通信設定画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

お知らせ

- 通信タイプ設定画面（62 ページ）で「SIPの使用」を「しない」に設定している場合、「設定するユーザー（SIP）」、「暗号通信（SIP）」、「暗号鍵（SIP）」は設定できません。
- 通信タイプ設定画面（62 ページ）で「H.323の使用」を「しない」に設定している場合、「設定するユーザー（H.323）」、「暗号通信（H.323）」は設定できません。
- 「暗号通信（SIP）」、「暗号通信（H.323）」はそれぞれ「設定するユーザー（SIP）」、「設定するユーザー（H.323）」に「管理者」を設定しているときに設定可能です。

「設定するユーザー（SIP）」／「設定するユーザー（H.323）」：【◀】【▶】で「管理者」（デフォルト）、「一般」を選ぶ

- 「管理者」を選ぶと、ネットワーク管理者のみ暗号通信の有効／無効を設定することができます。
- 「一般」を選ぶと、一般ユーザーでもそれぞれ「暗号通信（SIP）」（49 ページ）、「暗号通信（H.323）」（49 ページ）で、暗号通信の有効／無効を設定することができます。

「暗号通信（SIP）」：【◀】【▶】で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ

- 「有効」：暗号通信が有効です。
- 「無効」（デフォルト）：暗号通信が無効です。

「暗号鍵（SIP）」：暗号鍵（4～256文字 [英数字、半角スペース、記号]）を入力する（73 ページ）

お知らせ

- & < > , " は入力できません。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク（*）で表示されます。設定した暗号鍵を画面で確認することができなくな

りますので、暗号鍵はメモに控えるなどして大切に保管してください。

- 「**暗号鍵 (SIP)**」の設定が親拠点と一致しない場合は、暗号通信を有効にしても、通信は開始されません。
- 暗号鍵がアスタリスク (*) で表示されているときに **【黄】** を押すと、暗号鍵のすべての文字が削除されます。

「**暗号通信 (H.323)**」: **【決定】** を押し、**【▲】** **【▼】** で暗号通信を有効にするかどうかを選ぶ

- 「**接続性優先**」: 親拠点が暗号化通信を有効に設定している場合は、暗号化通信が有効になります。無効に設定している場合は、暗号化せず通信します。
- 「**有効**」: 暗号通信を有効にします。
- 「**無効**」(デフォルト): 暗号通信を無効にします。

3 **【緑】** を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 **【◀ ▶】** で「はい」を選び、**【決定】** を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

バージョンアップ確認の設定をする

ソフトウェアのバージョンアップを行う前に、最新のバージョンを確認するための設定を行います。

お知らせ

- バージョンアップの確認や、ネットワークから最新バージョンのダウンロードを行うためには、DNSサーバーの設定が必要です (48 ページ)。

1 「バージョン確認の設定」を選び、**【決定】** を押す

- バージョン確認設定画面が表示されます。

2 **【▲】** **【▼】** で以下の項目を選び、入力する 「**プロキシサーバーアドレス**」: プロキシサーバーのIPアドレスを入力する

お知らせ

- IPv6アドレスおよびホスト名では設定できません。
- 1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。
例: 「192.168.0.1」の場合:
(正) 192.168.0.1
(誤) 192.168.000.001

「**プロキシサーバーポート**」: プロキシサーバーのポート番号 (1~65535) を入力する

「**起動時のバージョン確認**」: **【◀ ▶】** で「**する**」、「**しない**」(デフォルト) を選ぶ

- 「**する**」を選ぶと、起動時に自動でアップデートの確認を行います。利用可能なアップデートがある場合は、ホーム画面にダイアログボックスが表示されます。
- 「**しない**」を選ぶと、起動時に自動でアップデートの確認は行いません。

3 **【緑】** を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 **【◀ ▶】** で「はい」を選び、**【決定】** を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

NATの設定をする

お知らせ

- 設定を変更するためには、ポート番号の設定を含めたシステムの設定が必要になります。詳細は販売店にお問い合わせください。

1 「NATの設定」を選び、**【決定】** を押す

- NATの設定画面が表示されます。

2 **【▲】** **【▼】** で以下の項目を選び、入力する 「**音声用RTP・RTCP**」: 音声RTP/RTCPの先頭ポート番号 (5100~5188) を入力する (デフォルト: 5100)

「映像用RTP・RTCP」：映像RTP/RTCPの先頭ポート番号（5200～5288）を入力する（デフォルト：5200）

「サブ映像用RTP・RTCP」：サブ映像RTP/RTCPのポート番号（5400～5488）を入力する。（デフォルト：5400）

「BFCP」：BFCPの先頭ポート番号（5800～5895）を入力する。（デフォルト：5800）

「SIP」：SIPサーバーを使用して通信するための、2地点用のポート番号（5000～5099）を入力する（デフォルト：5060）

お知らせ

- 変更したポート番号は機器情報表示画面に表示されます（43 ページ）。

「H.245」：H.245用の先頭ポート番号（5500～5590）を入力する（デフォルト：5500）

お知らせ

- 以下の項目については、入力した先頭ポート番号に自動的に値を加算して、利用可能な範囲や値を表示します。
 - 「音声用RTP・RTCP」
 - 「映像用RTP・RTCP」
 - 「サブ映像用RTP・RTCP」
 - 「BFCP」
 - 「H.245」

3 [緑] を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 [◀ ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

通信タイプの設定をする

1 「通信タイプの設定」を選び、[決定] を押す

- 通信タイプ設定画面が表示されます。

2 [▲] [▼] で以下の項目を選び、入力する 「SIPの使用」：[◀ ▶] で「する」（デフォルト）、「しない」を選ぶ

お知らせ

- 「しない」を選んだ場合、「SIPサーバーの使用」で「する」を選んでも、SIPサーバーは使用できません（63 ページ）。

「H.323の使用」：[◀ ▶] で「する」（デフォルト）、「しない」を選ぶ

お知らせ

- 「しない」を選んだ場合、「ゲートキーパーの使用」と「H.460の使用」で「する」を選んでも、ゲートキーパーとH.460は使用できません（64 ページ）。

「優先表示」：[決定] を押し、[▲] [▼] で「標準モード (SIP)」（デフォルト）、「標準モード (H.323)」を選ぶ

お知らせ

- ここで選んだ通信タイプが、発信時の接続モードのデフォルト値に反映されます。

3 [緑] を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 [◀ ▶] で「はい」を選び、[決定] を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

SIPの設定をする

イントラネットにおいてSIPサーバーを使用することで、IPアドレスだけではなくSIP-URI（SIPユーザー名@SIPドメイン名）による発着信が可能になります。

お知らせ

- 通信タイプ設定画面で「SIPの使用」を「する」に設定している場合のみ設定可能です。
- SIPサーバーの故障、またSIP設定が正しくない（SIPサーバー側または本体側）などの理由により、通信ができなくなっている場合、ホーム画面にSIPユーザー名は表示されず、「サーバー未登録」と表示されます。この場合、SIPサーバーによる通信はできません。ネットワーク管理者にご相談ください。

1 「SIPの設定」を選び、**【決定】** を押す

- SIP設定画面が表示されます。

2 **【▲】** **【▼】** で以下の項目を選び、入力する
「SIPサーバーの使用」：**【◀】** **【▶】** で「する」、「しない」（デフォルト）を選ぶ**お知らせ**

- SIPサーバーを使用して通信するためには、「する」を選び「SIPサーバーアドレス」、「SIPユーザー名」、「SIPドメイン名」の設定が必要です。
- 「する」を選ぶには、「ゲートキーパーの使用」（64 ページ）で「しない」を選んでいる必要があります。

「SIPサーバーアドレス」：SIPサーバーのIPアドレス（またはホスト名）を入力する

お知らせ

- IPv4アドレスで1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「001」のような入力はしないでください。
例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001
- IPv6アドレスの場合の入力形式は29 ページを参照してください。
- ホスト名を入力するためには、DNSサーバーの設定が必要です（47 ページ）。
- ホスト名で入力可能な文字と文字数は29 ページを参照してください。

「SIPユーザー名」：SIPユーザー名を入力する。

「SIPドメイン名」：SIPドメイン名を入力する。

お知らせ

- 入力可能な文字は29 ページを参照してください。
- 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

「ダイジェスト認証」：**【◀】** **【▶】** でダイジェスト認証を有効にするかどうかを選ぶ

- 「有効」：ダイジェスト認証を有効にします。
- 「無効」（デフォルト）：ダイジェスト認証を無効にします。

「認証用ID」：認証用ID（半角で1～60文字 [英数字、半角スペース、記号]）を入力する（73 ページ）。& < > , " は入力不可。

「認証用パスワード」：認証用パスワード（半角で0～60文字 [英数字、半角スペース、記号]）を入力する（73 ページ）。& < > , " は入力不可。

お知らせ

- SIPサーバーを使用して通信するためには、「ダイジェスト認証」、「認証用ID」、「認証用パスワード」の設定が必要な場合があります。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。
- 「認証用ID」、「認証用パスワード」の設定は、「ダイジェスト認証」で「有効」を選んでいるときのみ設定可能です。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク (*) で表示されます。設定した認証用パスワードを画面で確認することができなくなりますので、認証用パスワードはメモに控えるなどして大切に保管してください。
- 認証用パスワードがアスタリスク (*) で表示されているときに**【黄】** を押すと、認証用パスワードのすべての文字が削除されます。

「SIPトランスポートプロトコル」：**【決定】** を押し、**【▲】** **【▼】** でSIPによる通信に使用するプロトコル（UDP、TCP、自動（接続先による切り替え）、自動(TCP/UDP) [デフォルト]）を選ぶ

お知らせ

- 「自動（接続先による切り替え）」を選ぶと、SIPサーバーを使用した通信にはTCPが、SIPサーバーを使用しない通信にはUDPが使用されます。「自動(TCP/UDP)」を選ぶと、TCP、UDPの順で通信を試みます。通常は「自動(TCP/UDP)」に設定してください。

3 **【緑】** を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

- 4 【◀ ▶】で「はい」を選び、【決定】を押す
- 管理者メニュー画面が表示されます。

H.323の設定をする

お知らせ

- 通信タイプ設定画面で「H.323の使用」を「する」に設定している場合のみ設定可能です。
- ゲートキーパーおよびH.460サーバーの故障、またH.323設定が正しくない（ゲートキーパーおよびH.460サーバー側または本体側）などの理由により、通信ができなくなっている場合、ホーム画面にH.323内線番号／H.323名は表示されず、「サーバー未登録」と表示されます。この場合、ゲートキーパー、H.460サーバーによる通信はできません。ネットワーク管理者にご相談ください。

- 1 「H.323の設定」を選び、【決定】を押す
- H.323設定画面が表示されます。

- 2 【▲ ▼】で以下の項目を選び、入力する
「ゲートキーパーの使用」：【◀ ▶】で「する」、「しない」（デフォルト）を選ぶ

お知らせ

- この設定は「H.323の使用」（62 ページ）で「する」を選び、「SIPサーバーの使用」で「しない」を選んでいるときのみ設定可能です。

「ゲートキーパーアドレス」：ゲートキーパーのIPアドレス（またはホスト名）を入力する

お知らせ

- IPv4アドレスで1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「001」のような入力はしないでください。例：「192.168.0.1」の場合：
（正）192.168.0.1
（誤）192.168.000.001
- IPv6アドレスの場合の入力形式は29 ページを参照してください。
- ホスト名を入力するためには、DNSサーバーの設定が必要です（47 ページ）。

- ホスト名で入力可能な文字と文字数は29 ページを参照してください。

「H.323名」：H.323名を入力する。

「H.323内線番号」：H.323内線番号を入力する。

お知らせ

- 入力可能な文字は29 ページを参照してください。
- 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。

「認証」：【◀ ▶】で認証を有効にするかどうかを選ぶ

– 「有効」：認証を有効にします。

– 「無効」（デフォルト）：認証を無効にします。

「認証用ID」：認証用ID（半角で1～60文字 [英数字、半角スペース、記号]）を入力する（73 ページ）。& < > , " は入力不可。

「認証用パスワード」：認証用パスワード（半角で0～60文字 [英数字、半角スペース、記号]）を入力する（73 ページ）。& < > , " は入力不可。

お知らせ

- 「認証用ID」、「認証用パスワード」の設定は、「認証」で「有効」を選んでいるときのみ設定可能です。
- 入力中は、実際に入力した文字が表示されますが、設定保存後は、すべての文字がアスタリスク (*) で表示されます。設定した認証用パスワードを画面で確認することができなくなりますので、認証用パスワードはメモに控えるなどして大切に保管してください。
- 認証用パスワードがアスタリスク (*) で表示されているときに【黄】を押すと、認証用パスワードのすべての文字が削除されます。

「H.460の使用」：【◀ ▶】で「する」、「しない」（デフォルト）を選ぶ

- 3 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀ ▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

音声入出力の設定をする

お知らせ

- 音声の調整を行うための設定です。

1 「音声入出力の設定」を選び、【決定】を押す

- 音声入出力設定画面が表示されます。

2 【▲ ▼】で以下の項目を選び、入力する

「音声の出力先」：【決定】を押し、【▲ ▼】で通信中の音声の出力先を選ぶ

- 「HDMI」（デフォルト）：音声をHDMIから出力します。
 - 「無効」：音声をHDMIに出力しません。
- 「HDMI音声入力ゲイン」：【決定】を押し、音声入力ゲイン（+6 dB～-32 dB、OFF）を選ぶ（デフォルト：0 dB）。
- 「HDMI入力音声の出力ゲイン」：【決定】を押し、音声出力ゲイン（+6 dB～-32 dB、OFF）を選ぶ（デフォルト：0 dB）。

3 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀ ▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

電源管理の設定をする

ゲートウェイボックスの電源を、設定した時刻に自動的にオン・オフします。特定の曜日の設定した時刻にオン・オフするか、毎日同じ時刻にオン・オフするか選べます。

お知らせ

- テレビを接続している場合、自動電源オフを設定した時刻の約60秒前に、電源をオフするか確認するダイアログボックスが表示されます。

【◀ ▶】で「はい」「いいえ」を選び、【決定】を押す

- 「はい」を選んだ場合、設定時刻まで待たずに電源をオフします。
- 「いいえ」を選んだ場合、直近の設定時刻では電源をオフにせず、次回の設定時刻にオフにします。

60秒以内に【決定】が押されない場合は、設定時刻に電源をオフします。

- 自動電源オフから自動電源オンまで5分未満に時刻が設定されている場合、オフ・オンではなく再起動します。その場合、再起動するかどうか確認するダイアログボックスはテレビに表示されません。また、再起動する前に手動で電源が切られても、自動電源オン時刻に自動で電源が入ります。
- 自動電源オンから自動電源オフまで5分以上空くように時刻を設定してください。
- 自動電源オンの時刻にすでに起動していたり、自動オフの時刻に通信やファームウェアの更新を行っていたりする場合は、次回の設定時刻に電源オン・オフします。

1 「電源管理の設定」を選び、【決定】を押す

- 電源管理設定画面が表示されます。

2 【▲ ▼】で以下の項目を選び、入力する

お知らせ

- 特定の曜日にオン（またはオフ）する場合は、「曜日の設定」を「する」、「自動電源オン」（または「自動電源オフ」）を「する」、「曜日（電源オン）」（または「曜日（電源オフ）」、「時刻（電源オン）」（または「時刻（電源オフ）」を設定します。
- 毎日同じ時刻にオン（またはオフ）する場合は、「曜日の設定」を「しない」、「自動電源オン」（または「自動電源オフ」）を「する」、「時刻（電源オン）」（または「時刻（電源オフ）」を設定します。

「曜日の設定」：【◀ ▶】で「する」、「しない」（デフォルト）を選ぶ

「自動電源オン」：【◀ ▶】で「する」、「しない」（デフォルト）を選ぶ

「曜日（電源オン）」：【決定】を押し、【▲ ▼】で曜日（デフォルト：月曜）を選ぶ

お知らせ

- 「曜日の設定」を「しない」または「自動電源オン」を「しない」に設定した場合は設定できません。

「時刻（電源オン）」：時刻（デフォルト：06:00）を設定する

お知らせ

- 「自動電源オン」を「しない」に設定した場合は設定できません。

「自動電源オフ」：【◀】【▶】で「する」、「しない」（デフォルト）を選ぶ

「曜日（電源オフ）」：【決定】を押し、【▲】【▼】で曜日（デフォルト：土曜）を選ぶ

お知らせ

- 「曜日の設定」を「しない」または「自動電源オフ」を「しない」に設定した場合は設定できません。

「時刻（電源オフ）」：時刻（デフォルト：00:00）を設定する

お知らせ

- 「自動電源オフ」を「しない」に設定した場合は設定できません。

3 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

お知らせ

- 自動電源オフの設定時刻直前に手動操作などで本機を起動した場合、設定時刻に電源がオフにならないことがあります。その場合、次の設定時刻に電源オフします。

ショートカットを設定する

システム設定画面への移動操作を短縮する機能を、リモコンキーに設定することができます。

1 「ショートカットの設定」を選び、【決定】を押す

- ショートカットの設定画面が表示されます。

2 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する

「【青】ショートカット」（デフォルト：「履歴を見る」）／「【赤】ショートカット」（デフォルト：「-」）／「【緑】ショートカット」（デフォルト：「-」）／「【黄】ショートカット」（デフォルト：「-」）：【決定】を押し【▲】【▼】で設定する機能を選ぶ

- 「-」：ショートカットキーを設定しません。
- 以下の画面を設定できます。
履歴を見る／機器の設定／日時の設定／ネットワークの設定／通信の設定／自動接続の設定／スタンバイの設定／音の設定／リモコンの設定／言語の設定／拡張機能の確認／ネットワークの確認／リモートメンテナンス

3 【緑】を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

ソフトウェアを更新する

お知らせ

- USBからソフトウェア更新を行う場合は、販売店にご相談のうえ、更新を行ってください。
- USBからソフトウェア更新を行う場合は、次の点にご注意ください。
 - 新しいソフトウェアは、USBメモリーのルートディレクトリに保存してください。
 - ソフトウェアのファイル名は変更しないでください。
 - あらかじめUSBメモリーを本体背面のUSB端子に接続しておいてください。
 - USB端子にパソコンを接続している場合、「USBメモリーの接続（21 ページ）」を参照して、USBメモリーの接続・取り外し、パソコンの再接続をしてください。

1 「ソフトウェアの更新」を選び、【決定】を押す

- バージョンアップ画面が表示されます。

2 ▲▼ で「ソフトウェアの転送元」を選び、【決定】を押す

3 ▲▼ で「ネットワーク」、「USB」を選び、【決定】を押す

- 「ネットワーク」：ネットワークからソフトウェアを更新します。
- 「USB」：USBからソフトウェアを更新します。

お知らせ

- 「USB」を選ぶ場合、詳細については販売店にお問い合わせください。

4 「起動時のバージョン確認」を「する」に設定している場合 (61 ページ) :

最新のソフトウェアバージョンが「最新のバージョン」に表示されます。バージョンアップがある場合は、手順5にすすんでください。

「起動時のバージョン確認」を「しない」に設定している場合 (61 ページ) または手順3で「ソフトウェアの転送元」を「USB」に設定している場合 : ▲▼ で「バージョン確認」を選び、【決定】を押す

- バージョンアップの確認を開始します。最新のソフトウェアバージョンが「最新のバージョン」に表示されます。バージョンアップがある場合は、手順5にすすんでください。

5 ▲▼ で「ソフトウェア更新」を選び、【決定】を押す

- ソフトウェアの更新を確認するダイアログボックスが表示されます。

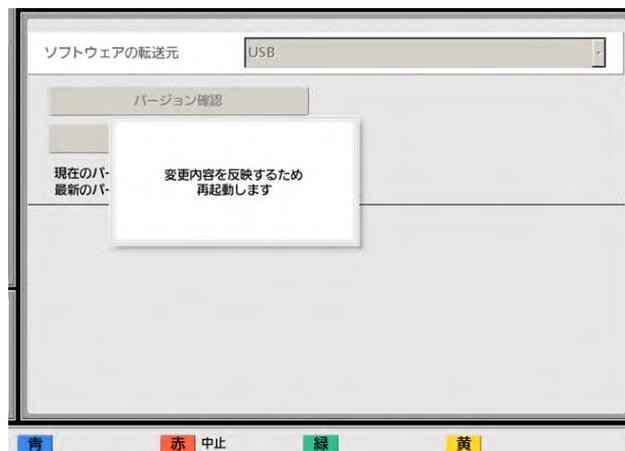
お知らせ

- ダイアログボックス内の注意事項をよく確認してから、次の手順にすすんでください。

6 ◀▶ で「はい」を選び、【決定】を押す

- 自動的に最新バージョンのダウンロードが開始されます。
- ダウンロードが完了すると、設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。再起動が始まる前には、次の画面が表示されます。

再起動前の画面



再起動後、本機は最新バージョンのソフトウェアで起動します。

お知らせ

- 最新のファームウェアおよび取扱説明書の入手方法については、販売店にお問い合わせください。
- バージョンアップの確認や、最新バージョンのダウンロードに失敗すると、エラーメッセージが表示されます。【決定】を押して本機を再起動してください。

次の点を実行してみてください。

- ネットワーク設定 (47 ページ) で、「DNS の設定」または「優先DNSサーバー」の設定を確認してください。その後、再度ソフトウェアの更新を行ってください。

「DNS の設定」が「自動」に設定されている場合は、DHCPサーバーに問題がある可能性がありますのでネットワーク管理者にご相談ください。

- 上記の方法でもうまくいかない場合は、回線が混み合っている可能性があります。しばらく時間をおいてから、再度ソフトウェアの更新を行ってください。

何度実行してもうまくいかない場合は、ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。販売店にご相談ください。

- IPv6アドレスではソフトウェアの更新はできません。

システムの初期化を行う

1 「システムの初期化」を選び、【決定】を押す

- システム初期化の開始を確認するダイアログボックスが表示されます。

2 【◀ ▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- システムの初期化を完了するために、本機は自動的に再起動されます。

お知らせ

- 初期化後、すべての設定と通信履歴に保存されている情報は破棄されます。
- データのインポート（70 ページ）により更新された起動画面データは破棄されません。
- ソフトウェアの拡張により有効にした機能は破棄されません（拡張機能は未提供です）。

リモートアクセスの設定をする

本機をリモート操作するための設定をします。

1 「リモートアクセス」を選び、【決定】を押す

- リモートアクセスの設定画面が表示されます。

2 【▲ ▼】で以下の項目を選び、入力する

- 「パスワードの変更」：【◀ ▶】でパスワードをデフォルトから変更するかを選ぶ
- 「する」：変更する
 - 「しない」（デフォルト）：変更しない

お知らせ

- 本機を外部から制御する場合に使用するパスワードで、管理者ログインのパスワード（60 ページ）とは異なります。

「現在のパスワード入力」：現在のパスワードを入力する（デフォルト：HDVC_admin）

「新しいパスワードの入力」：新しいパスワードを入力する

「新しいパスワードの再入力」：新しいパスワードを再入力する

お知らせ

- パスワードは半角8～32文字で入力し、アルファベット、数字、記号から2種類以上を混在させる必要があります。
- 「新しいパスワードの入力」にデフォルトのパスワード（HDVC_admin）を入力することはできません。
- パスワードは大切に保管してください。
- 「パスワードの変更」を「しない」に設定している場合は、パスワードの入力はできません。

「Webポートの常時オープン」：【◀ ▶】でWebポートを常時オープンするかを選ぶ

- 「する」：Webポートは常時オープンです。
- 「しない」（デフォルト）：Webポートは常時オープンしません。

お知らせ

- 「する」を設定した場合、パスワードをデフォルトから変更する必要があります。
- 「する」を設定した場合、Webポートを経由して常時リモートアクセス可能な状態になります。パスワードを定期的に変更するなどして、意図しないアクセスに注意してください。

「Webポート番号」：Webポートを常時オープンにする場合のポート番号（80、8000～8999）を設定します（デフォルト：80）

「telnetポートの常時オープン」：【◀ ▶】でtelnetポートを常時オープンするかを選ぶ

- 「する」：telnetポートは常時オープンです。
- 「しない」（デフォルト）：telnetポートは常時オープンしません。

お知らせ

- 「する」を設定した場合、パスワードをデフォルトから変更する必要があります。
- 「する」を設定した場合、telnetポートを経由して常時リモートアクセス可能な状態になります。パスワードを定期的に変更するなどして、意図しないアクセスに注意してください。

「telnetポート番号」：telnetポートを常時オープンにする場合のポート番号（23、20000～29999）を設定します（デフォルト：23）

3 【緑】 を押す

- 設定の保存を確認するダイアログボックスが表示されます。

4 【◀ ▶】 で「はい」を選び、【決定】 を押す

- 設定内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

データをエクスポートする

通信履歴、動作ログなどをUSBメモリーに保存します。保存された動作ログは、トラブルが発生した場合の原因を特定するのに使用されます。詳細については、販売店にお問い合わせください。

お知らせ

- 本機では、マスタレージクラス（FAT16、またはFAT32フォーマット）対応のUSBメモリーを使用できます。
- 次のUSBメモリーは使用できません。
 - U3スマートドライブ（U3プラットフォームに対応したUSBメモリー）
 - セキュリティー機能を持つUSBメモリー
 - NTFSフォーマットのUSBメモリー
 - 複数LUN（Logical Unit Number）を持つUSBメモリー
 - 複数パーティションのUSBメモリー
- 全てのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- USBメモリーを再度接続する場合は、一度USBメモリーを完全に取り外してから、再度接続してください。
- USBメモリーに十分な空き容量（50 MB以上）があることを確認してから操作を行ってください。
- USB端子にパソコンを接続している場合、「USBメモリーの接続（21 ページ）」を参照して、USBメモリーの接続・取り外し、パソコンの再接続をしてください。

1 USBメモリーを、本体背面のUSB端子に接続する（16 ページ）

お知らせ

- USBメモリーが正しく接続されていることを確認してください。

2 管理者メニュー一覧から「データのエクスポート」を選び、【決定】 を押す

- データのエクスポート画面が表示されます。

**3** 【決定】 を押す

- データのエクスポートが開始されます。

お知らせ

- データのエクスポート中は、USBメモリーを取り外さないでください。故障や障害が発生する原因になります。
- USBメモリーに保存されるデータのファイル名は「hdvclogall_XXXX.tar」です。「XXXX」は使用しているソフトウェアのバージョンや保存した日時によって表示が異なります。
- hdvclogall_XXXX.tarに含まれる構成データ（config.xml）、暗号データ（sec_config.xml）は本機にインポートすることができます。

4 保存の結果（成功／失敗）を確認し、【決定】 を押す

- 管理者メニュー画面が表示されます。

5 USBメモリーを取り外す

お知らせ

- USBメモリー内のデータ流出などを回避するために、USBメモリーを廃棄（または譲渡、返却）される際には、USBメモリー内に保存されたデータを必ず消去してください。

データをインポートする

本機からエクスポートしたデータを、USBメモリーから本機にインポートします。

お知らせ

- 本機からエクスポートした暗号データには、ログインID、パスワードが含まれています。暗号データをインポートするとログインID、パスワードが変わってログインできなくなる可能性があるのでご注意ください。
- 本機では、マスタレージクラス（FAT16、またはFAT32フォーマット）対応のUSBメモリーを使用できます。
- 次のUSBメモリーは使用できません。
 - U3スマートドライブ（U3プラットフォームに対応したUSBメモリー）
 - セキュリティ機能を持つUSBメモリー
 - NTFSフォーマットのUSBメモリー
 - 複数LUN（Logical Unit Number）を持つUSBメモリー
 - 複数パーティションのUSBメモリー
- 全てのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。詳しくは、販売店にお問い合わせください。
- USBメモリーを再度接続する場合は、一度USBメモリーを完全に取り外してから、再度接続してください。
- 起動画面をインポートすることにより、デフォルトの起動画面を変更することができます。
- USB端子にパソコンを接続している場合、「USBメモリーの接続（21 ページ）」を参照して、USBメモリーの接続・取り外し、パソコンの再接続をしてください。

1 インポートするデータを格納したUSBメモリーを準備する

- インポートするファイル名は固定です。
 - 構成データ：config.xml

- 暗号データ：sec_config.xml
- 起動画面：startup.png

- データはUSBメモリーのルートディレクトリ、またはルートディレクトリ直下のフォルダ（フォルダ名「01」～「16」）に格納してください。
- 起動画面は、（960 × 540 pixel）以下の（PNG）ファイルフォーマットをご使用ください。

2 USBメモリーを、本体背面のUSB端子に接続する（16 ページ）**お知らせ**

- USBメモリーが正しく接続されていることを確認してください。

3 管理者メニュー一覧から「データのインポート」を選び、【決定】を押す

- データのインポート画面が表示されます。

4 【▲】【▼】で以下の項目を選び、入力する
「USBディレクトリ名」：【決定】を押し、【▲】【▼】でインポートするデータが格納されたディレクトリを「ルート」（デフォルト）、「／01」～「／16」から選びます。
「データ」：【決定】を押し、【▲】【▼】でインポートするデータを「全て」、「構成データ」、「暗号データ」、「起動画面」から選びます。**5** 【緑】を押す

- データのインポートとインポート後の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。

6 【◀】【▶】で「はい」を選び、【決定】を押す

- インポート内容を反映させるため、本機は自動的に再起動されます。

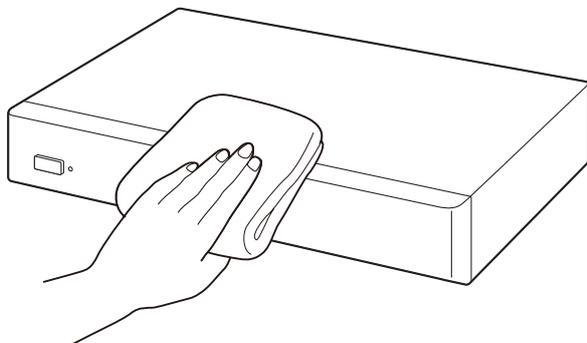
お知らせ

- （960 × 540 pixel）より大きいデータを入力した場合、デフォルトの起動画面が表示されます。

- (960 × 540 pixel) より小さいデータを入力した場合、センタリングされて表示されます。

お手入れ

お手入れをするときは、電源プラグやケーブルを抜き、電源を切った状態で行ってください。電源を入れたままお手入れをすると、感電の原因となります。



- 機器は、乾いた柔らかい布でふいてください。
汚れがひどい場合、柔らかい布に薄めた台所用洗剤（中性）をしみこませ、固く絞ったものでふき、乾いた柔らかい布で仕上げてください。
- お手入れには下記のものはいけません。変色、変質の原因になります。
 - 石油
 - みがき粉
 - アルコール
 - シンナー
 - ベンジン
 - ワックス
 - 熱湯
 - 粉せっけん
- 化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください。

文字や数字を入力する

リモコンでカタカナ、アルファベット、数字を入力することができます。(リモコンで漢字を入力することはできません。漢字を入力したい場合は、お手数ですが販売店までご相談ください。)

入力可能な文字や数字は次のとおりです。設定により選択した言語によって入力可能な文字は異なります。入力したい文字や数字が表示されるまで、該当するボタンを繰り返し押します。同じボタンに割り当てられている文字を続けて入力するには、**▶** を押してカーソルを右に移動させてください。

表1 日本語

ボタン	カナモード(全角)	英字モード(半角)		数字モード(半角)
		大文字優先モード	小文字優先モード	
1 ア	アイウエオアイウエオ	1	1	1
2 カ ABC	カキクケコ	ABCabc2	abcABC2	2
3 サ DEF	サシスセソ	DEFdef 3	defDEF3	3
4 タ GHI	タチツテトツ	GHIghi4	ghiGHI4	4
5 ナ JKL	ナニヌネノ	JKLjkl5	jklJKLM5	5
6 ハ MNO	ハヒフヘホ	MNOmno6	mnoMNO6	6
7 マ QRS	マミムメモ	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7
8 ヤ TUV	ヤユヨヤユヨ	TUVtuv8	tuvTUV8	8
9 ワ XYZ	ワリルレロ	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9
0 ワ ン ワ ー	ワヨンワー(全角スペース)	0(半角スペース)	0(半角スペース)	0
・*◎	°(濁点)°(半濁点)	.@:;="'+<>	.@:;="'+<>	.@:;="'+<>
# 記号	. @ : ; " = * + < > # _ - & \$ ¥ % ~ ^ ! ? / ` ' () , [] { } ' `	# _ - & \$ \% ~ ^ ! ? / ` () , [] { } ' `	# _ - & \$ \% ~ ^ ! ? / ` () , [] { } ' `	# _ - & \$ \% ~ ^ ! ? / ` () , [] { } ' `

表2 英語／アラビア語

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1(西欧系)		拡張文字2(東欧系)	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	ABCabc2	abcABC2	2	AAÁÄÅĂĀ ÆBCCçaaá âãäåæbcc Ç2	aáääãäåæ bcçAAÁÄ ĂĀĀÆBCC Ç2	AÁÄÅBCČ Čaaääabcč Č2	aaääabcčč AÁÄÅBCČ Č2
3 サ DEF	DEFdef3	defDEF3	3	DEÈÉÊËĚ deèéêëf3	deèéêëfD EÈÉÊËF3	DĎEÉÊËĚ dďeéëëf3	dďeéëëfD ĎEÉÊËF3
4 タ GHI	GHIghi4	ghiGHI4	4	GĜHIÍĪĴĴĴ ĴĴĴĴĴĴĴ 4	gĝhiíĴĴĴĴ GĜHIÍĴĴĴĴ 4	GHIÍghií4	ghiiGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	jklJKL5	5	JKLjkl5	jklJKL5	JKLĹĽĴjkl ĴĴ5	jkĺĴĴJKLĹ ĽĽ5
6 ハ MNO	MNOmno6	mnoMNO6	6	MNŃOÓ ÔÕØŒ mnñoóóó ôõøæ6	mnñoóóóó ôõæMNŃ OÓOÓOÓ ØŒ6	MNŃŃOÓ ŌŌmnńño óóó6	mnńñoóóó MNŃŃOÓ ŌŌ6
7 マ QRS	PQRSpqr s7	pqrsPQR S7	7	PQRSŞßp qrsşß7	pqrsşßP QRSŞß7	PQRŔŖŞŞ Şpqŕŕŕşşş 7	pqŕŕŕşşşP QRŔŖŞŞŞ 7
8 ヤ TUV	TUVtuv8	tuvTUV8	8	TUÚÚŪŪŪ Vtuúúúú v8	tuúúúúŪ TUÚÚŪŪŪ V8	TŤUÚŪŪŪ VtŤuúúúŪ 8	tŤuúúúŪ ŤUÚŪŪŪŪ 8
9 ワ XYZ	WXYZwxy z9	wxyzWXY Z9	9	WŴXIJYŶ Zwŵxijyŷ 9	wŵxijyŷ WŴXIJYŶ Z9	WXYŶYZŹ ŹŹwxyŷŷ ŹŹŹ9	wxyŷŷŷŹŹ WXYŶYZŹ ŹŹ9
0 フ _	0 (スペース)	0 (スペース)	0	0 (スペース)	0 (スペース)	0 (スペース)	0 (スペース)
・ * @	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>
# 記号	#_ -&\$\% ~^!/?/\`(), []{} '	#_ -&\$\% ~^!/?/\`(), []{} '	#_ -&\$\% ~^!/?/\`(), []{} '	#_ -&\$\% ~^!/?/\`(), []{} '	#_ -&\$\% ~^!/?/\`(), []{} '	#_ -&\$\% ~^!/?/\`(), []{} '	#_ -&\$\% ~^!/?/\`(), []{} '

表3 中国語

ボタン	ラテン文字モード		数字モード
	大文字優先モード	小文字優先モード	
1	1	1	1
2 ^{ABC}	ABCabc2	abcABC2	2
3 ^{DEF}	DEFdef3	defDEF3	3
4 ^{GHI}	GHIghi4	ghiGHI4	4
5 ^{J_{KL}°}	JKLjkl5	jklJKL5	5
6 ^{MNO}	MNOmno6	mnoMNO6	6
7 ^{P_{QRS}}	PQRSpqrs7	pqrsPQRS7	7
8 ^{TUV}	TUVtuv8	tuvTUV8	8
9 ^{W_{XYZ}}	WXYZwxyz9	wxyzWXYZ9	9
0 ₋	0 (Normal space)	0 (Normal space)	0
• [@] *	.@:;”=**+<>	.@:;”=**+<>	.@:;”=**+<>
#	#_ -&\$\%~^!?’/‘(),[]{}’	#_ -&\$\%~^!?’/‘(),[]{}’	#_ -&\$\%~^!?’/‘(),[]{}’

表4 ドイツ語

ボタン	ラテン文字モード		数字モード	拡張文字1(西欧系)		拡張文字2(東欧系)	
	大文字優先モード	小文字優先モード		大文字優先モード	小文字優先モード	大文字優先モード	小文字優先モード
1 ア	1	1	1	1	1	1	1
2 カ ABC	AÄBCaäb c2	aäbcAÄB C2	2	AAÄÄÄÄÄ ÆBCÇaää ääääæbcç 2	aaaaääääæ bcçAÄÄÄ ÄÄÄÆBC Ç2	AÄÄÄBCÇ Čaäääbcç č2	aaaaäbcčč AÄÄÄBCÇ Č2
3 サ DEF	DEFdef 3	defDEF 3	3	DEÈÉÊËF deèéêëf3	deèéêëfD EÈÉÊËF3	DĎEÉÊËF dďeéëëf3	dd'eéëëfD ĎEÉÊËF3
4 タ GHI	GHIghi4	ghiGHI4	4	GĜHIİİİİİ İgĝhiîîîîî 4	gĝhiîîîîî GĜHIİİİİİ 4	GHIÍghií4	ghiíGHIÍ4
5 ナ JKL	JKLjkl5	klIJKL5	5	JKLjkl5	klIJKL5	JKLŁŁŁłjkl Íł5	klÍłJKLŁ Łł5
6 ハ MNO	MNOÖmn oö6	mnoöMNO Ö6	6	MNŃOÒÓ ÔÕØŒ mnñoòóó ôõøœ6	mnñoòóóô öøœMNŃ OÓOÓOÓ ØŒ6	MNŃŃOÓ ŌŎmnňño óöó6	mnňñoóóö MNŃŃOÓ ŌŎ6
7 マ QRS	PQRSßpq rsß7	pqrsßPQR Sß7	7	PQRSSßp qrsßß7	pqrsßßP QRSßß7	PQRŔŔSS ŠpqŕŕŕŕŔ 7	pqrŕŕŕŔŔ QRŔŔŔŔŔ 7
8 ヤ TUV	TUÜVtuüv 8	tuüvTUÜV 8	8	TUÜÚÜÜÜ Vtuüúüüü v8	tuüúüüüv TUÜÚÜÜÜ V8	TŤUÜÜÜÜ Vtŭüüüüv 8	tŭüüüüüvT ŤUÜÜÜÜÜ 8
9 ワ XYZ	WXYZwxy z9	wxyzWXY Z9	9	WŴXIJYŶ Zwŵxijyŷ Z9	wŵxijyŷ WŴXIJYŶ Z9	WXYŶYZŽ ŽŽwxyŷz žžž9	wxyŷzžžž WXYŶYZŽ ŽŽ9
0 フ _	0 (スペース)	0 (スペース)	0	0 (スペース)	0 (スペース)	0 (スペース)	0 (スペース)
・ * @	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>	.@:; "=*+ <>
# 記号	#_ - & \$ \% ~^! ? / ` () [] { } ' ,	#_ - & \$ \% ~^! ? / ` () [] { } ' ,	#_ - & \$ \% ~^! ? / ` () [] { } ' ,	#_ - & \$ \% ~^! ? / ` () [] { } ' ,	#_ - & \$ \% ~^! ? / ` () [] { } ' ,	#_ - & \$ \% ~^! ? / ` () [] { } ' ,	#_ - & \$ \% ~^! ? / ` () [] { } ' ,

入力モードを切り替える

【青】または【赤】を押すたびに、次のように順番に入力モードが切り替わります。

- **【青】**：
（日本語選択時）カナモード → 英字モード → 数字モード
（日本語、中国語、ロシア語以外選択時）ラテン文字モード → 数字モード → 拡張文字1モード → 拡張文字2モード
（中国語選択時）ラテン文字モード → 数字モード
（ロシア語選択時）キリル文字モード → 数字モード → ラテン文字モード → 拡張文字1モード → 拡張文字2モード
- **【赤】**：
（カナモード／数字モード以外選択時）小文字優先モード → 大文字優先モード

現在選択中の入力モードはガイドエリアに表示されます。

例：カナモードを選択中



入力した文字や数字を削除する

【黄】を押すと、入力した文字や数字を削除できます。カーソルの位置によって削除される文字や数字が次のように異なります。

- カーソルの位置が入力文字・数字の最後：直前の1文字や数字を削除
- カーソルの位置が入力文字・数字の途中：直後の1文字や数字を削除

文字や数字を挿入する

【◀】【▶】で挿入したい位置にカーソルを移動させ、文字や数字を入力します。入力した文字や数字は、移動させたカーソルの前後の文字や数字の間に挿入されます。

ポート番号について

通信のため本機は以下のポートを使用します。

使用目的	通信方式	プロトコル	ポート番号	備考
RAS	H.323	UDP	1719	NAT の設定で変更可能 (61 ページ)
H.225		TCP	1720	
H.245		TCP	5500 ~ 5509	
SIP	SIP	TCP/UDP	5060	
音声用 RTP・RTCP	SIP/ H.323	UDP	5100 ~ 5103	
映像用 RTP・RTCP		UDP	5200 ~ 5203	
サブ映像用 RTP・RTCP		UDP	5400 ~ 5403	
BFCP	SIP	UDP	5800	

使用目的	プロトコル	ポート番号	備考
Telnet	TCP	23	リモートアクセスの設定で変更可能 (68 ページ)
Web	TCP	80	
ソフトウェア更新 (https)	TCP	443 /48750	ソフトウェアダウンロードサーバーの 待ち受けポート
DHCP	UDP	67	DHCP サーバーの待ち受けポート (本機はポート番号68 を使用)
DNS	UDP	53	DNS サーバーの待ち受けポート

困ったとき

トラブルが起きたときは、こちらをお読みください。点検を行う前に、本体が正しく接続されているか、電源プラグを差し込んでいる電源コンセントから電源が供給されているか確認してください。

基本動作について

こんなとき	原因と対応
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグが電源コンセントに接続されていません。 → 電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
操作しても動かない／動作がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（16 ページ）。 <ul style="list-style-type: none"> エラーが発生しています。 → 電源を切って再起動してください。 <ul style="list-style-type: none"> ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。
通信が切断できない	<ul style="list-style-type: none"> ゲートウェイボックスから通信は切断できません。 → ビデオ会議の親拠点から通信を切断してください。

こんなとき	原因と対応
リモコンが動かない	<ul style="list-style-type: none"> • リモコン操作が無効になっています。 → リモコン操作を有効にしてください (23 ページ)。 • ゲートウェイボックスが通信中です。 → 親拠点の操作で通信を切断してください。 • リモコンの電池が切れています。 → 新しい電池に交換してください。 • リモコンの動作範囲外で操作しています。 → リモコンの動作範囲内で操作していることを確認してください。 • リモコンIDが本体とリモコンとで一致していません。 • リモコンの電池が切れた (または電池を取り出した) 状態で1日以上経過し、リモコンIDが初期化されています。 → 本体とリモコンのリモコンIDが一致するよう設定を変更してください。次の手順を行ってください。 1. 電源を一度切ったあと再度入れ直して本機を再起動する <ul style="list-style-type: none"> • ホーム画面が表示されます。本体のリモコンIDを確認してください (25 ページ)。 <u>お知らせ</u> <ul style="list-style-type: none"> • リモコンIDがホーム画面に表示されていない場合は、販売店へお問い合わせください。 2. [・]と[#]を同時に押したままにする 3. ボタンを離して2秒以内にホーム画面に表示されているIDと一致する番号 (1~3) を押す <u>お知らせ</u> <ul style="list-style-type: none"> • 上記の手順を行ってもリモコンが動かない場合は、販売店へお問い合わせください。

こんなとき	原因と対応
親拠点とつながらない	<ul style="list-style-type: none"> • LANのケーブルが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください（16 ページ）。親拠点のIPアドレスを指定して、ネットワーク接続の確認を行い、親拠点との接続を確認してください（54 ページ）。 • 通信タイプの設定が正しくありません。 → 通信タイプの設定を親拠点と合わせてください（62 ページ）。 • SIPの設定が正しくありません。 → SIPの設定を確認してください（62 ページ）。SIPの設定を確認後、それでも親拠点とつながらない場合はネットワーク管理者にご相談ください。 • ダイジェスト認証用のIDとパスワードが正しく設定されていません。 → 「認証用ID」と「認証用パスワード」が正しく設定されているか確認してください（63 ページ）。 • 「SIPトランスポートプロトコル」の設定が親拠点と異なります。 → 「SIPトランスポートプロトコル」の設定を親拠点と合わせてください（63 ページ）。 • IPアドレスが正しく入力されていません。 → 親拠点のIPアドレスを正しく入力したか確認してください。 • SIP-URI（またはSIPユーザー名）／H.323内線番号／H.323名が正しく入力されていません。 → 親拠点のSIP-URI（またはSIPユーザー名）／H.323内線番号／H.323名を正しく入力したか、また、規格に準拠した値を入力したか確認してください。 • ビデオ会議の親拠点以外の相手と通信中です。 → 設定により、特定の相手（ビデオ会議の親拠点）からの着信だけに応答することができます（50 ページ）。

こんなとき	原因と対応
	<ul style="list-style-type: none"> • インターネット接続が確立（リンクアップ）していません。 → 接続するハブ、ルーターなどによっては、リンクアップに 10 秒以上かかるものがあります。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。 • ホスト名が正しくIPアドレスに変換されていません。 → ネットワーク設定（47 ページ）で、「DNSの設定」または「優先DNSサーバー」の設定を確認してください。 • 「IPv6アドレスの設定」で「自動（SLAAC）」を選択時、IPアドレス／デフォルトゲートウェイが設定されていません。 → ルーターが接続されていません。 → ルーターが正しく設定されていません。ネットワーク管理者にご相談ください（ルーターで配布するプレフィックス長は64に設定してください。プレフィックス長64以外の場合、IPv6アドレスが登録されません）。 • 「IPv6アドレスの設定」で「自動（DHCP）」を選択時、IPアドレス／デフォルトゲートウェイが設定されていません。 → DHCPv6サーバー、またはルーターが接続されていません。 → DHCPv6サーバーが正しく設定されていません。ネットワーク管理者にご相談ください（DHCPv6で配布するアドレスはグローバルアドレスを配布してください。グローバルアドレス以外の場合、IPv6アドレスが登録されません）。
共有したビデオ会議の映像が乱れる	<ul style="list-style-type: none"> • ハブやルーターの設定が本機と異なっています。 → 販売店にご相談ください。 • パケットロスが発生しています。（ネットワークが混雑しています。） → 映像が乱れる状態が続く場合は、ネットワーク管理者または販売店にご相談ください。 • ご利用の回線に問題が発生している可能性があります。 → 販売店にご相談ください。
Web会議に表示されるビデオ会議の映像やコンテンツの解像度が低い	<ul style="list-style-type: none"> • Web会議の品質や機能に依存します。 → Web会議の解像度に関する機能を確認してください。 → Web会議からコンテンツ共有を行ってください。
通信中の最大帯域が変わっている	<ul style="list-style-type: none"> • 通信中は、最大帯域を最も小さく設定した参加者の最大帯域が適用されます。 → ご利用の回線に問題が発生する場合は、販売店にご相談ください。

機能の設定について

こんなとき	原因と対応
本機の設定ができない	<ul style="list-style-type: none"> 通信中です。 → 通信を終えてから、本機を設定してください。

こんなメッセージが出たら

表示メッセージ	原因と対応
暗号設定が異なるため通信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> 暗号通信の有効／無効の設定が親拠点と一致していません。 → 暗号通信の設定を親拠点と合わせてください（49 ページ、49 ページ、60 ページ）。
暗号鍵が一致しないため通信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> 暗号鍵の設定が親拠点と一致していません。 → 暗号鍵の設定を親拠点と合わせてください（60 ページ）。
IPアドレスが正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPv4アドレスを入力してください。IPv4アドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
サブネットマスクが正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> サブネットマスクとして無効な値を入力しています。 → 正しいサブネットマスクを入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.000」のような入力はしないでください。 例：「255.255.255.0」の場合： （正）255.255.255.0 （誤）255.255.255.000

表示メッセージ	原因と対応
デフォルトゲートウェイが正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> • デフォルトゲートウェイとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPv4アドレス用のデフォルトゲートウェイを入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： (正) 192.168.0.1 (誤) 192.168.000.001 → 正しいIPv6アドレス用のデフォルトゲートウェイを入力してください。IPv6アドレスの入力形式は29 ページを参照してください。
日時の入力为正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> • 有効な入力範囲以外の値を入力しています。 → 2020/1/1～2035/12/31の値で入力してください。
PCが接続されていません 接続を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> • ケーブルやコードが正しく接続されていません。 → 本体と正しく接続されているか確認してください (21 ページ)。 • パソコンの電源が切れています。 → パソコンの電源を入れてください。 • パソコンの外部ディスプレイ端子から信号が出力されていません。 → パソコンの画面の出力先が外部ディスプレイになるように、パソコンの設定を変更してください。
HDMIに映像周波数、または解像度が異なるTVが接続されました	<ul style="list-style-type: none"> • 本体の映像周波数と異なるテレビが接続されました。 → 本体の映像周波数をご使用のテレビに合わせてください。 • 1920 × 1080に対応していないテレビが接続されました。 → 1080に対応したテレビをご使用ください。 <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> • 接続されたテレビの解像度が低下します。表示メッセージが示す端子のテレビを外すとフルHDの解像度に戻ります。 • 表示メッセージが示す端子の出力は、機器状況表示画面で「サポート外」と表示されます。
画面の解像度を 確認してください	<ul style="list-style-type: none"> • パソコンの解像度が本機に対応していません。 → 本機に対応している解像度に設定してください (21 ページ)。
nはすでに使用されています お知らせ • nにはIPアドレスが表示されます。	<ul style="list-style-type: none"> • 使用するネットワーク上に、入力したアドレスがすでに設定された機器があります。 → 同一ネットワーク上ではIPアドレスが重複しないように設定してください。
冷却用ファンが停止しました 速やかに電源を切ってください	<ul style="list-style-type: none"> • CPU冷却用のファンが停止しました。 → 速やかに電源を切り、販売店にご相談ください。

表示メッセージ	原因と対応
サポート外のため通信できませんでした	<ul style="list-style-type: none"> サポートしていない機能で接続しようとしてしました。 <p>→ 通信参加者のソフトウェアのバージョンを確認してください。ソフトウェアを更新して、バージョンを合わせてください。接続可能なバージョン、機能の詳細については、販売店へお問い合わせください。</p>
コーデックの調停に失敗したため通信を切断しました	<ul style="list-style-type: none"> 親拠点の機器がサポートしていないコーデックを使用しています。 <p>→ 親拠点の機器の設定を確認してください。</p>
<p>本体の設定 (n2) と異なるリモコンID (n1) を受信しました</p> <p>本体の設定と同じリモコンで [ホーム] を押してください または、以下の手順でリモコンを設定してください</p> <ol style="list-style-type: none"> [.] と [#] を同時に押し して離してください 2秒以内に、[n2] を押してください リモコンの [ホーム] を押して、この表示が消えれば変更完了です <p>※この表示が消えない場合は、リモコンの電池を確認し、本体近くで、もう一度設定してください</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ここでは、リモコンのリモコンID (1、2、3) をn1と記載しています。 ここでは、本体のリモコンID (1、2、3) はn2と記載していません。 	<ul style="list-style-type: none"> 本体とリモコンのリモコンIDが一致しません。 <p>→ 画面上の手順に従って、リモコンのリモコンIDを変更して本体と合わせてください。</p> <p>→ リモコンのリモコンIDが変更できない場合は、販売店へお問い合わせください。</p> <p>→ 近くで複数のリモコンIDを使用している場合や、このメッセージを表示させない場合は、「IDの不一致確認」を「しない」に設定してください (52 ページ)。</p>

表示メッセージ	原因と対応
発信先アドレスが正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> • IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPv4アドレスを入力してください。IPv4アドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。 → 正しいIPv6アドレスを入力してください。IPv6アドレスの入力形式は29 ページを参照してください。 → IPv6アドレスで、ポート番号を指定して発信する場合には、以下のようにIPv6アドレスを[]で囲んでください。 [2001:db8::10]:5060 • アドレス情報として無効な値を入力しています。 → 正しい宛先を入力してください（29 ページ）。
自拠点には発信できません 発信先を確認してください	<ul style="list-style-type: none"> • 親拠点のIPアドレスが自分のIPアドレスと同じです。 → 正しいIPアドレスを登録してください。
優先DNSサーバーが正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> • IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPv4アドレスを入力してください。IPv4アドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。
代替DNSサーバーが正しくありません	
DNSサーバーには異なるアドレスを入力してください	<ul style="list-style-type: none"> • 優先DNSサーバーと代替DNSサーバーのアドレスが同じです。 → 異なるアドレスを入力してください（48 ページ）。
IPv6 優先DNSサーバーが正しくありません	<ul style="list-style-type: none"> • IPアドレスとして無効な値を入力しています。 → 正しいIPv6アドレスを入力してください。IPv6アドレスの入力形式は29 ページを参照してください。
IPv6 代替DNSサーバーが正しくありません	
IPv6 DNSサーバーには異なるアドレスを入力してください	<ul style="list-style-type: none"> • IPv6 優先DNSサーバーとIPv6 代替DNSサーバーのアドレスが同じです。 → 異なるアドレスを入力してください（49 ページ）。

表示メッセージ	原因と対応
<p>ネットワークに接続できません (XXXX XXXX)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 「XXXX XXXX」にはエラーコード（数字）が表示されます。 	<ul style="list-style-type: none"> LANケーブルが正しく接続されていないため、通信ができません。 <p>→ LANケーブルが正しく接続されているか確認してください。ホーム画面にIPアドレス/SIPユーザー名などが表示されるのを待って、再度発信してください。それでも接続できない場合は、エラーコードをお控えのうえ、販売店にご相談ください。</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> LANケーブルが正しく接続されていないことが原因で、通信が行えない状態が発生した場合、LANケーブルを正しく接続し直しても、最大で約10分IPアドレス/SIPユーザー名などが表示されず、通信が行えない場合があります。
<p>SIPサーバーアドレスが正しくありません</p>	<ul style="list-style-type: none"> SIPサーバーアドレスとして無効な値を入力しています。 <p>→ 正しいIPv4アドレス用のSIPサーバーアドレスを入力してください。SIPサーバーアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。</p> <p>→ 正しいIPv6アドレスを入力してください。IPv6アドレスの入力形式は29 ページを参照してください。</p>
<p>SIPドメイン名が正しくありません</p>	<ul style="list-style-type: none"> SIPドメイン名として無効な値を入力しています。 <p>→ 規格に準拠した値を入力してください。詳細については、ネットワーク管理者にご相談ください。</p>
<p>ゲートキーパーアドレスが正しくありません</p>	<ul style="list-style-type: none"> ゲートキーパーアドレスとして無効な値を入力しています。 <p>→ 正しいIPv4アドレス用のゲートキーパーアドレスを入力してください。ゲートキーパーアドレスはXXX.XXX.XXX.XXX（ドット形式10進表記）で入力してください。1桁または2桁の数値を含む場合は、そのまま入力してください。「.001」のような入力はしないでください。 例：「192.168.0.1」の場合： （正）192.168.0.1 （誤）192.168.000.001 マルチキャストアドレスやブロードキャストアドレスは使用できません。</p> <p>→ 正しいIPv6アドレスを入力してください。IPv6アドレスの入力形式は29 ページを参照してください。</p>

表示メッセージ	原因と対応
データの保存に失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に対応していないUSBメモリーを使用しています。 → 本機に対応しているUSBメモリーを使用してください (69 ページ)。 • 使用しているUSBメモリーの空き容量が不足しています。 → USBメモリーに十分な空き容量 (50 MB以上) があることを確認してから操作を行ってください。 • USBメモリーが正しく接続されていることを確認してください。
データのインポートに失敗しました	<ul style="list-style-type: none"> • 本機に対応していないUSBメモリーを使用しています。 → 本機に対応しているUSBメモリーを使用してください (70 ページ)。 • USBメモリーが正しく接続されていることを確認してください。
ネットワーク障害 (LAN) が発生しています ネットワークを確認してください	<ul style="list-style-type: none"> • ネットワークループが発生するなど、ネットワークに異常が発生しています。 → LANケーブルやネットワーク機器を確認してください。ネットワーク異常の解消を検出すると、以下のメッセージを表示しますので、【決定】 を押してください。 ネットワークは正常になりました 「決定」で再起動します
障害が発生しました 電源を入れ直してください ※自動的に再起動する場合があります	<ul style="list-style-type: none"> • 本体内部のソフトウェアの起動に失敗しました。 • 本体内部のフラッシュメモリーへのデータの書き込みに失敗しました。 → 約20秒経過しても自動的に再起動しない場合、電源を一度切り再度入れて本機を再起動してください。再起動後も同じメッセージが表示される場合は、販売店にご相談ください。
バージョン確認に失敗しました (3996 0BBB)	<ul style="list-style-type: none"> • USBメモリーに適切なファームウェアがありません。 • ファームウェアが異常です。
ソフトウェア更新に失敗しました (3996 0BBB) 再起動します	<ul style="list-style-type: none"> → USBメモリーに正しいファームウェアが保存されているかどうかを確認ください。 ファームウェアの詳細に関しては販売店にご相談ください。
管理者権限によりこの操作はできません	<ul style="list-style-type: none"> • 管理者メニューによって操作が制限されています。 → ネットワーク管理者にご相談ください。

おもなシステム仕様

端末方式		SIP、H.323
映像（ビデオ会議との通信）	画像圧縮方式	H.264 High Profile、H.264 Baseline Profile（SNALUを除く）
	フレーム数	最大30フレーム／秒
音声（ビデオ会議との通信）	音声圧縮方式	G.722（7.0 kHz@64 kbps）
デュアルストリーム（受信のみ）	方式	H.239（H.323）、BFCP（SIP）
暗号化		SRTP（AES 128-bit）、H.235（AES 128-bit）
映像（USB出力）	規格	UVC Version 1.0
	映像方式	Motion JPEG
	解像度	1280 × 720p（最大10fps）
音声（USB出力）	規格	UAC Version 1.0
	音声方式	PCM・16bits・32kbps
対応OS（パソコン）		Microsoft Windows 8.1 operating system Microsoft Windows 10 operating system
入／出力端子	映像・音声入力	HDMI ^{*1} × 1（PC端子） 映像入力対応解像度：VGA、SVGA、XGA、HD、WXGA、SXGA、FWXGA、WXGA+、WXGA++、UXGA、WSXGA+、フルHD
	映像出力	HDMI × 1（テレビ端子） 出力対応解像度：1920 × 1080i、1920 × 1080p
	ネットワーク	RJ45 × 1（100BASE-TX 全二重）
	外部制御	RS-232C × 1（メンテナンス用兼用）
	その他	USB 2.0 ^{*2} ^{*3} × 1（ホストモード、デバイスモード）
USBホストモード（USBメモリー）		バージョンアップ、インポート（構成データ、暗号データ、起動画面）、エクスポート（構成データ、暗号データ）
接続モード		標準モード
外形寸法（幅×奥行き×高さ）		約320 mm × 約230 mm × 約61 mm（突起部除く）
質量		約2.0 kg
使用電源		AC 100 ~ 240 ^{*4} V、50/60 Hz
消費電力		最大時：25 W、待機時：0.6 W
本体入力電源		DC 24 V、2.5 A
動作温度		0 °C ~ 40 °C

動作湿度	10 % ~ 90 % (結露なきこと)
------	----------------------

- *1 HDCPには対応していません。
- *2 給電能力：5V /500mA
- *3 USBホストモード時はUSBメモリー用端子になります。
- *4 電源コードはAC 100 V 専用です。

保証とアフターサービス よくお読みください

使いかた・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

お買い上げ先			
電 話	()	—	
お買い上げ日	年	月	日

修理を依頼されるときは

「困ったとき」(86 ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源を切り、電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

- 製品名 Webハイブリッドモード拡張ゲートウェイボックス
- 品番 KX-VCG100J
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 **5年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 5 年保有しています。

アフターサービスについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店または保証書表面に記載されています連絡先へお問い合わせください。

- ・ 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理をさせていただきます。ただし、落雷や停電などの外部要因、または本装置の故障、誤動作等で、本装置が使えなかったことによる付随的被害の補償については、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- ・ 説明書に記載されている内容は、製品のバージョンアップなどに伴い、将来予告無しに変更することがあります。

索引

英数字

H.323の設定をする 64

SIPの設定をする 62

あ行

宛先を直接入力して発信する 37

暗号通信の設定 60

安全上のご注意 8

音の設定 51

親拠点 2

お手入れ 72

か行

各部のなまえとはたらき 15

画面の見かた 25

管理者パスワードの設定 60

機器情報 43, 53

拠点名の設定 47

ケーブル 19

言語の設定 53

子拠点 2

困ったとき 86

コンテンツ共有 35

さ行

システムの初期化を行う 68

自動接続 50

仕様 96

肖像権 13

情報の保護 13

初期設定 30

スクリーンスタンバイ 18

スクリーンスタンバイの設定 51

セキュリティー 13

接続

 パソコン 21

接続機器 19

接続状況 42

接続端子 16

た行

着信制限 50

着信に応答する 41

通信タイプの設定 62

通信の設定 49

通信履歴から発信する 39

電源管理設定 65

電源ボタン 15

同梱物 14

な行

日時の設定 47

ネットワークの設定 47

ネットワーク接続の確認を行う 54

は行

バージョンアップ確認の設定 61

パソコン 21

発信する 37

プライバシー 13

ボタン

 電源 15

ま行

文字入力 73

ら行

ランプ表示 17

リモートアクセス 68

リモートメンテナンスを行う 55

リモコンの設定 52

リモコン操作の有効化・無効化 23

取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック ビデオ会議システム ご相談センター

電話  **0570-087-800** 受付：9時～17時30分
(土・日・祝祭日・年末年始・弊社休業日は除く)
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは <https://sol.panasonic.biz/visual/soudan>

ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくためのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社 コネクティッドソリューションズ社

〒812-8531 福岡県福岡市博多区美野島四丁目1番62号